【別紙】

第4回「部会」資料

第3次 富山市総合計画
ー前期基本計画(素案)

＜令和8年9月28日時点＞

- **第Ⅱ部 分野別の政策**

前期基本計画

第Ⅱ部 分野別の政策

1　結婚・出産・子育て／3

2　教育／9

3　健康・医療・福祉／15

4　スポーツ／21

5　地域コミュニティ／27

6　郷土愛／33

7　行政・パートナーシップ／37

8　都市・交通／43

9　防災・防犯／49

10　産業・雇用／55

11　観光・交流／61

12　農林水産／67

13　環境／73

14　文化・芸術／79

分野
01

結婚・出産・子育て

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

若者の出会いから結婚、子育てまでを切れ目なく支え、社会全体で子どもと家庭を支える環境づくりを進めます。

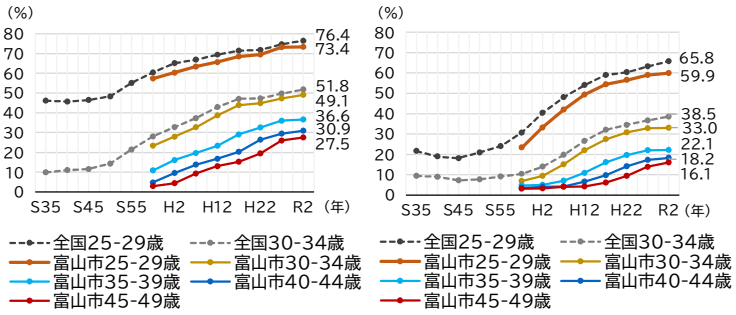
- 富山市はこれまで、保育サービスや子育て支援拠点、妊娠期から子育て期までの相談支援など、子どもと家庭を支える基盤を整え、地域や関係機関と連携しながら、結婚、出産、子育ての希望を支える取組を広げてきました。
- 一方、出会いの機会不足や経済的不安などを背景に、結婚や出産に対する希望の実現に課題を抱える人もいます。また、子育て家庭の孤立感、児童虐待リスクの顕在化など、子どもや家庭を取り巻く課題が複合化しており、地域全体での対応が求められています。
- 今後、結婚・出産・子育ての各段階を切れ目なく支える視点のもと、経済的負担の軽減、出会いの機会創出、子育て環境の充実を強化します。また、地域・企業・関係機関との連携を深化させ、社会全体で子育てを支える仕組みへ発展させます。さらに、こどもまんなかの視点のもと、子どもの声を生かした施策展開に努めながら、誰もが安心して自らの希望を描けるまちづくりを進めます。

結婚・出産・子育て分野に関連するSDGsゴール



① 若い世代の結婚の希望をかなえるために、不安を取り除く支援が求められています。

未婚率の推移　左：男性　右：女性

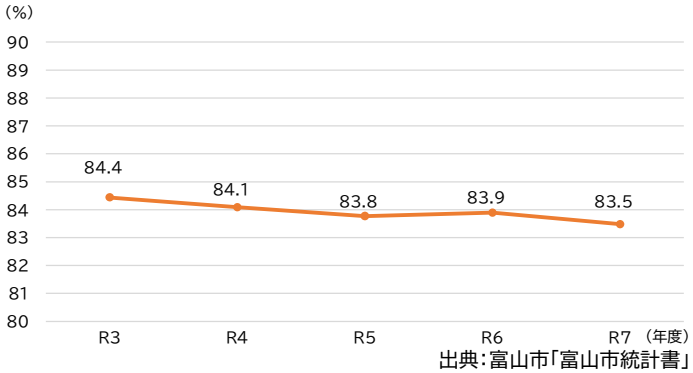


出典：富山市「富山市人口ビジョン【第3版】(令和7年3月)」」

晩婚化・未婚化が進む中、結婚希望のある若い世代の中には、経済面への不安や出会いの機会不足により、結婚の希望と実現に差がある状況もみられます。若い世代が富山で自分らしい人生を描ける環境づくりが必要です。

② 妊娠期から子育て期にかかる多様な支援ニーズへの対応や、安全・安心な保育環境の提供が求められています。

保育施設利用率の推移

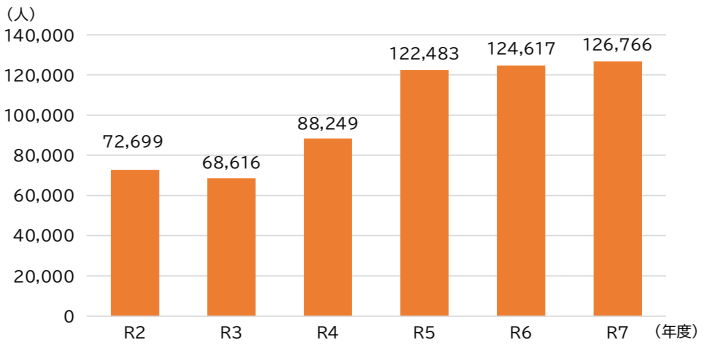


出典：富山市「富山市統計書」

妊娠期から子育て期の支援や多様な保育ニーズへの対応はそれぞれ実施されている一方、各段階の連携にはまだ課題があります。保育環境の充実に継続して取り組むとともに、各段階をつなぐ連携を通して、切れ目ない支援体制の強化を図る必要があります。

③ 子育ての孤立感や経済負担への支援などを通じて、子育ての喜びを実感できる環境整備が求められています。

子育て支援センター等の利用者数

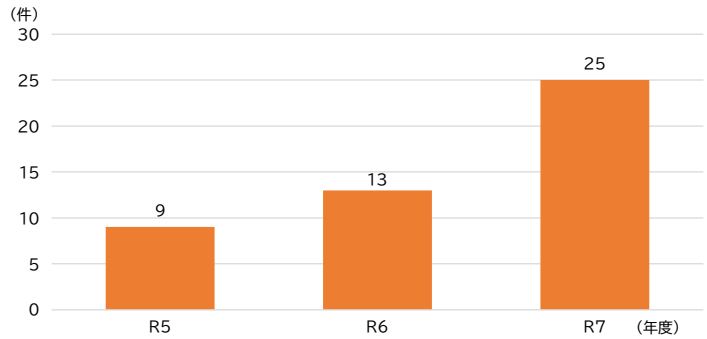


出典：富山市調査

子育ての孤立感や経済的な不安などにより、子育ての喜びを十分に実感できない環境や、ひとり親家庭を取り巻く厳しい状況が課題となっています。安心して子育てできる環境づくりが求められています。

④ 子育て支援の認知度向上や関係機関の連携を強化し、子どもを安心して育てられる体制の整備が求められています。

こどもまんなかアクションの報告数



出典：富山市調査

「こどもまんなか」に対する若い世代の認知度が低いこと、放課後の居場所や遊び場の確保、保育施設老朽化への対応が課題となっています。こどもまんなかアクションを進めるとともに、児童虐待の未然防止や早期発見、適切な支援を図るため、関係機関の連携が必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

結婚や出産・子育てについて、自分なりの見通しを持っていると回答した若年世代の市民の割合

基準　新規

目標　50%（令和13年度）

富山市調査

妊娠・出産における指導・ケアに満足している人の割合

基準　93.0%（令和7年度）

目標　95.5%（令和13年度）

富山市調査

子育てについて「楽しいと感じることの方が多い」と思う保護者の割合

基準　63.0%（令和6年度）

目標　65.0%（令和10年度）

富山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

「こどもまんなかアクション」という言葉を知っていて、行動している人の割合

基準　13.2%（令和7年度）

目標　23.0%（令和12年度）

富山市民意識調査

政策 1

出会い・結婚の希望をかなえる支援の充実

結婚を望む人がその希望をかなえられるよう、環境の整備と支援を進めます。

施策 1 若い世代の経済的負担の軽減

- 安心して希望する結婚、出産、子育てができるよう、若い世代の経済的負担の軽減を図ります。
- 若い世代が将来に対して希望を持てるよう、経済的負担の軽減策をはじめ、結婚、出産、子育てに関する市の施策を分かりやすく整理し、周知を図ります。

施策 2 ライフデザインの支援

- 就職や結婚、出産などのライフイベントに関する自分自身の考えや見通しを整理するライフデザインを支援し、一人ひとりが自分らしい人生を描き、実現できる環境づくりに取り組みます。
- 男女を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行う、プレコンセプションケアを推進します。

施策 3 出会いの場の創出、結婚支援

- 結婚を希望する人が自然に交流しながら出会いのきっかけを得られるよう、富山市の多様な施設やイベントと連携した婚活イベントの開催など、出会いの場の創出を図ります。
- 出会いの場の提供のみならず、交際から結婚に至る過程でのサポートなど、結婚の希望を叶えられるように支援します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市こども計画

政策 2

妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える仕組みづくり

多様な関係者が連携し、切れ目なく子育てを支える体制を構築します。

施策 1

妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実

- こども家庭センターを中心として、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援に取り組みます。
- 若い世代や企業に向けて、妊娠・出産・子育てに関する知識の普及啓発を行い、社会全体で子どもや子育てを支え応援する気運の醸成を図ります。
- 妊娠期や出産後の経済的支援を実施するとともに、妊娠初期からの継続支援を強化することにより、安心して出産・子育てができる環境づくりを推進します。
- 医療機関等と連携し、出産環境の充実や産後ケアの推進などを通じて、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進します。
- 市民病院において、無痛分娩やＬＤＲ室の整備等、出産環境の充実を図ることで、妊娠・出産に対する不安や負担を軽減します。

施策 2

多様な保育サービスの提供

- 延長保育や一時預かり、病児・病後児保育など多様な保育サービスを提供するとともに、保護者の多様なニーズに対応できる保育環境を整備し、子育てと仕事の両立を支援します。
- 保育人材の確保や資質向上のための取組を継続し、安心して子どもを預けられる体制を整備します。

施策 3

安全・安心な保育環境の提供

- 就学前児童数の減少を踏まえ、集団保育に必要な児童数、施設の配置、地域性、施設の老朽化などを総合的に勘案し、将来の保育需要を見据えた上で、安全・安心で質の高い保育サービスを安定的に提供する保育環境づくりを進めます。
- 市立・私立保育施設の環境整備により、安心して子どもを預けられる保育環境を確保するとともに、地域の理解と協力を得ながら、子育て世帯を支える環境づくりを進めます。

主な関連計画
- 富山市こども計画

政策 3 子育ての喜びを支える支援の推進

子育て世帯を多面的に支え、安心と喜びを実感できる環境をつくります。

施策 1 地域における子育て支援拠点施設の整備・運営

- 市内各所に子育て支援センターを開設し、子育て期の親子が気軽に集い、交流できる場を提供します。
- 子育てに関する相談対応や講座の実施、地域の子育て情報の発信などにより、子育て中の不安感や孤立感の緩和を図ります。
- 父親向け講座の充実や地域・企業との連携により、家庭内の育児負担の偏りの軽減を図ります。

施策 2 親子で楽しめる場の創出

- 子どもたちが安全に遊ぶことのできる場の充実や、子育て世帯が公共交通を利用しやすい環境を創出することで、外出機会の拡大を図ります。
- 保育所や認定こども園などに通っていない子どもと保護者を対象にした親子サークルなどを通じて、親子の交流を深める遊びや、子育ての仲間作りのお手伝いを実施します。

施策 3 ひとり親家庭への支援

- ひとり親家庭の子が大学等へ進学する際の奨学資金を給付し、経済的理由により進学や学習機会をあきらめることのないよう支援します。
- ひとり親家庭の親の就業に関する支援や経済的支援を行うことで、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市こども計画

政策 4

子どもの健やかな成長を見守る体制の構築

社会全体で子どもを見守り、健やかな成長を支える環境を整えます。

施策 1 「こどもまんなか社会」の実現

- こどもまんなか推進ロゴマークや各種広報媒体を活用した周知・啓発を行い、「こどもまんなか」の理念や取組の認知度向上を図ります。
- 中高生など若い世代に向けた周知啓発を行うとともに、子ども・若者の声を政策に反映するため、意見を聴く取組を実施します。
- 企業や関係機関との連携による、こどもまんなかアクションの取組事例の収集と発信を通じて、社会全体で子どもや子育てを支え、応援する気運の醸成を図ります。

施策 2 地域の子育て環境の充実

- 放課後児童クラブなどの受け皿確保を進め、子どもの居場所の充実を図ります。
- 老朽化した児童館について、公共施設再編にあわせた機能の複合化を検討し、児童が安全に利用できる健全な遊び場を確保します。
- 地域や関係機関と連携し、子どもを地域全体で見守り育てる意識の醸成を図ることにより、子どもの健やかな成長を支える環境づくりを推進します。

施策 3 児童虐待防止体制の整備

- 関係機関との連携による要保護児童等の早期発見や適切な支援を行う体制を整備し、児童虐待の未然防止と早期対応を進めます。
- 児童相談所、学校、保育施設、教育委員会などの関係機関と連携し、情報共有や連絡調整を行い、支援を必要とする子どもや家庭への対応力を高めます。
- 児童虐待防止に関する広報・普及啓発活動を推進し、市民の理解促進と通告意識の向上を図ることで、子どもの安全確保につなげます。

主な関連計画
- 富山市こども計画

分野
02

教育

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

子どもから大人まで、すべての人が学びを楽しみながら、自分らしく輝き、挑戦し続ける社会の実現を目指します。

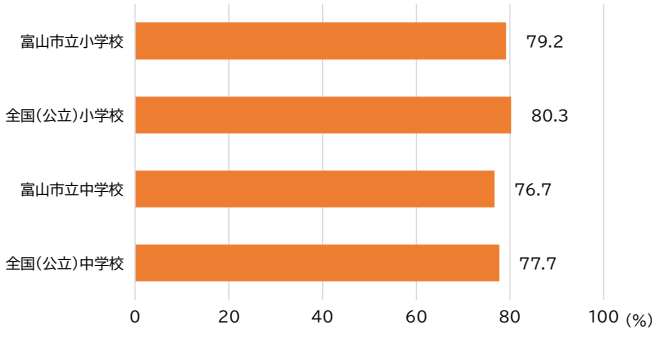
- 富山市はこれまで、社会変化に対応した教育の実施や、いじめ対策や不登校児童生徒への支援、学校再編の推進など、子ども一人ひとりの学びを支える学校教育の基盤を整えてきました。また、すべての世代の学びの場である生涯学習拠点の整備を進めてきました。
- 一方、将来の予測が困難な現代においては、課題解決に主体的に取り組む力を育む教育が求められています。また、子どもを取り巻く環境が多様化するなか、誰一人取り残されない学びを保障し、社会全体で子どもの成長を支える仕組みが必要です。さらに、人生100年時代を見据え、いつまでも学び続け、挑戦し続ける環境づくりが求められています。
- 今後は、子どもたちの主体的な学びを支え、一人ひとりの可能性を引き出し、安心して学校へ通えるよう、質の高い教育環境の整備を一層推進します。また、すべての子どもが自分にあった学びを選択できるよう、多様な選択肢を提供します。さらに、リカレント教育への支援を充実させ、生涯にわたり学び、挑戦し続ける社会の実現を目指します。

教育分野に関連するSDGsゴール



① 子どもの主体的な学びを支え、一人ひとりの可能性を引き出す教育環境の整備が必要です。

「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合

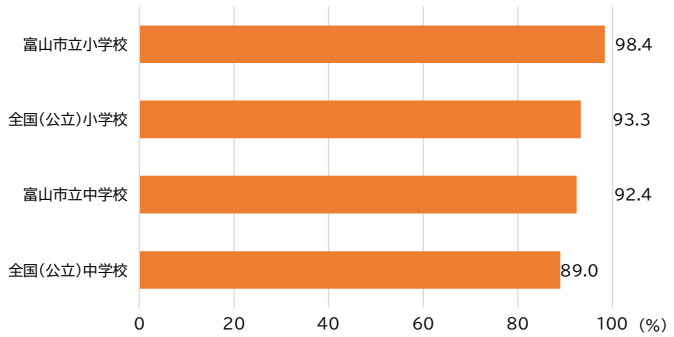


出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査(令和7年度調査)」

将来の予測が困難な時代において、グローバルな視野を持ち、社会の発展を支える人材の育成が求められています。学びを楽しめる環境のもとで、課題解決に主体的に取り組む力を養う教育が必要です。

② 学校・家庭・地域みんなで協力し、子どもの成長を支えることが必要です。

「コミュニティ・スクール等の取組により、学校と地域や保護者との相互理解が深まった」と回答した学校の割合

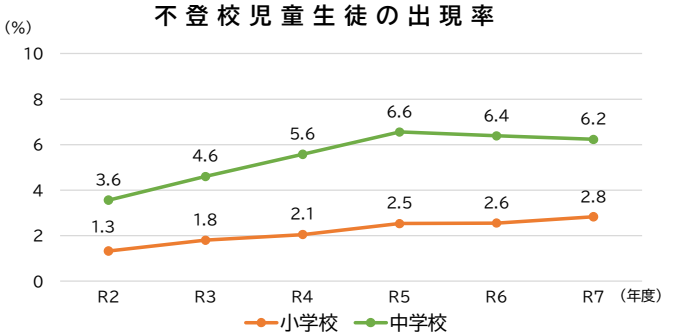


出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査(令和7年度調査)」

近年、家族構成の変化や地域とのつながりの希薄化により、家庭での教育負担が増大し、子どもが抱える問題の早期発見が難しくなっています。子ども一人ひとりの豊かな成長を支えるためには、学校・家庭・地域が協力することが必要です。

③ すべての子どもが自分に合った学びを選べるよう、多様な選択肢が必要です。

不登校児童生徒の出現率

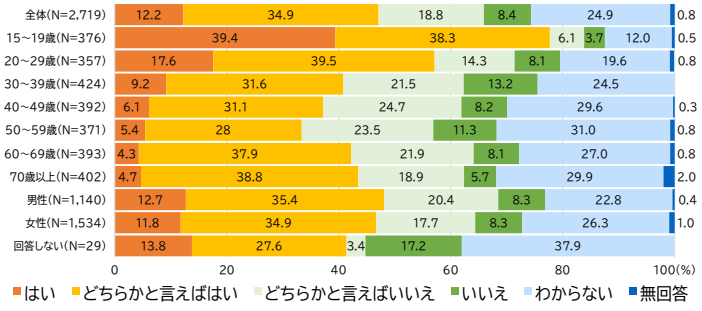


出典:文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

すべての子どもは、それぞれの状況に応じた適切な教育を公平・公正に受ける権利があります。誰一人取り残されない学びを実現するために、子どもが自分に合った学びを選べる、多様な選択肢の提供が求められています。

④ 年齢に関係なく誰もが学び続け、新しいことに挑戦できる環境が必要です。

「全体として、あなたが成長するための学びや経験できる環境がある」と回答した市民の割合



出典:富山県「令和7年度ウェルビーイング県民意識調査結果報告書」

人生100年時代において、刻々と変化する社会に対応できる知識やスキルを身につけるために、生涯にわたり学び続けることの必要性が高まっています。年齢を問わず、誰もがいつまでも学び、挑戦できる環境の整備が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した学校の割合

基準 小学校:82.8%
中学校:69.2%
(令和7年度)

目標 小学校:92.0%
中学校:90.0%
義務教育学校:100%
(令和13年度)

全国学力・学習状況調査

コミュニティ・スクール等の取組のより、学校と地域や保護者との相互理解が深まったと回答した学校の割合

基準 小学校:98.4%
中学校:92.4%
(令和7年度)

目標 小学校:98.0%
中学校:95.0%
義務教育学校:100%
(令和13年度)

全国学力・学習状況調査

不登校児童生徒数の割合(不登校出現率)

基準 小学校:2.84%
中学校:6.23%
(令和7年度)

目標 小学校:2.28%
中学校:4.46%
(令和13年度)

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

市民大学での学びを今後のキャリアで活用できると感じている受講者の割合

基準 新規

目標 83%
(令和13年度)

市民学習センター受講者アンケート

政策1 未来を切り拓く子どもを育てる学校教育

学びを楽しむことができる環境下で、一人ひとりの可能性を引き出す質の高い教育を実現します。

施策1 主体性のある子どもの育成

- グローバルな視野を持って活躍できる能力を育成するため、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図り、国際理解教育を推進します。
- 専門家の訪問授業により体験的な活動の機会をつくり、子どもの観察力・コミュニケーション力・探究心を高めます。
- 9年間の学びを通した確かな学力を育むため、小・中学校が連携した指導に取り組みます。
- 各学校において「主体的な学び」に向けた実践が進められるよう、教員の研修の充実を図ります。

施策2 安全・安心で質の高い教育環境の整備

- いじめの未然防止、早期発見、早期対応ができる組織体制を活用し、いじめを生まない学校づくりを目指します。
- 教員が心身共に健康で、子どもたち一人ひとりに向き合う時間を確保できるよう、学校における働き方改革を推進します。
- 子どもの学びの質を保障するために、これまでの学校再編の効果を検証し、学校規模の適正化を図ります。
- 適切な改修により施設の長寿命化を図り、体育館に空調設備を整備することなどにより、持続可能で快適な学習環境を確保します。
- 将来にわたり安定的に学校給食を提供する体制を構築するため、学校給食調理場の再編・整備を推進します。

施策3 教育DXの推進

- 一人1台端末を活用し、ICTを日常的に活用した学びを推進するため、ICT環境の整備と教員の指導力向上を図ります。
- 情報を正しく選び安全に使える基礎的な力を育てるため、デジタルリテラシー教育を実施します。
- ICTを活用し、子ども一人ひとりの興味や理解度に合わせた学びを推進します。

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画
- 富山市立小・中学校再編計画
- 富山市学校施設長寿命化計画

政策 2 学校・家庭・地域で支え合う教育の推進

学校・家庭・地域みんなで力を合わせ、子どもの成長を支えます。

施策 1 学校・家庭・地域との連携・協働と開かれた学校づくり

- 学校運営協議会の機能を生かし、地域住民と保護者、学校が一体となり、子どもたちの豊かな成長を支えます。
- 子どもたちがスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保するため、部活動の地域連携を推進します。

施策 2 地域とともに子どもが育つ環境づくり

- 学校や公民館等を活用し、多様な体験活動や地域住民との交流活動を行い、地域における子どもたちの安全・安心な居場所を確保します。
- 共働きなどで保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、地域の方々の協力を得ながら、放課後の小学校の余裕教室などを活用した安全な生活の場を提供します。

施策 3 家庭教育支援の充実

- 子育てに不安を感じたり、身近に相談相手がいない状況にある保護者を支えるため、相談体制を確保し、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めます。
- PTA等と連携し、家庭教育に関する情報交換や親学びの機会を提供します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画

政策 3

一人ひとりに合った学びの充実

一人ひとりに合った多様な学びを提供し、誰一人取り残されない教育を実現します。

施策 1

学校に行きづらいと感じている子どもへの支援

- 各学校にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、子どもや保護者への支援体制を整備します。
- 教室に入りづらい子どもが、自分に合ったペースで安心して学び、過ごすことができる環境を学校内に整備します。
- 学びの多様化学校「古志はるかぜ学園」において、子ども一人ひとりの状況に応じた柔軟なカリキュラムによる教育を提供します。
- メタバースを活用し、家庭内で多くの時間を過ごす子どもたちに、他者とのつながりや居場所を提供します。

施策 2

インクルーシブ教育の推進

- 各学校にスクールサポーターを配置し、特別な支援を必要とする子どもに対し、一人ひとりの教育的ニーズに対応した支援を行います。
- 支援が必要な医療的ケア児が在籍する学校に、看護師を派遣・配置し、保護者の付添いがなくても安全・安心に学べる環境を整備します。
- 外国人の子どもが円滑に教育を受けられるよう、日本語指導や生活適応の支援を行う体制を整備します。
- 国際交流活動や外国文化の理解を深める教育を行い、異なる文化背景を持つ人々への理解と、尊重する態度を育みます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画

政策 4 生涯にわたり活躍できるひとづくり

年齢に関係なく挑戦し続ける社会の実現のため、学びの機会の提供や支援の充実を図ります。

施策 1 リカレント教育の推進

- 富山市民大学や公民館において、あらゆる世代が受講しやすい工夫を行い、生涯にわたり学び直し、能力向上を図ることができる機会を提供します。
- 社会人へ学びの機会を提供することで、多様な世代の職業能力向上を後押しします。

【関連施策】産業・雇用　政策２－施策２

施策 2 生涯学習拠点の充実

- 図書館において、魅力ある蔵書の充実や、本と関連したイベントや講演会の実施などにより、知の拠点施設として、市民に質の高い情報を提供します。
- 公民館において、利用申請の電子化やスマートロックの導入といったデジタル技術などにより利便性を向上させ、地域住民が集い、学び、交流できる場を創出します。

【関連施策】地域コミュニティ　政策３－施策１

- 魅力的な学びの場を提供できるよう、博物館の目指すべき方向性を定め、計画的に展示の見直しや施設の長寿命化を進めます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画

分野
03

健康・福祉・医療

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

市民一人ひとりが健康で自分らしく暮らし、必要な医療・介護・福祉サービスを切れ目なく受けられ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを進めます。

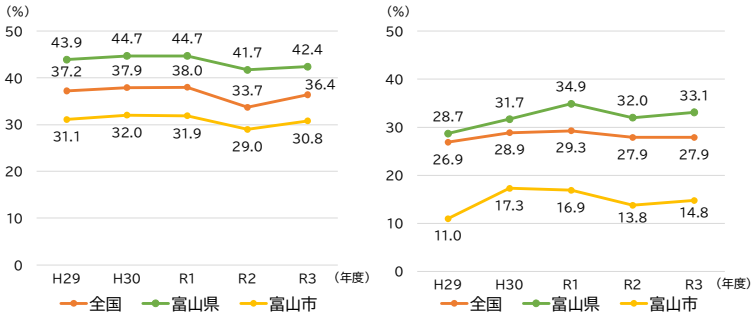
- 富山市はこれまで、健康づくりの推進、医療・介護・福祉サービスや地域包括支援、地域福祉活動などを通じて、市民が住み慣れた地域で暮らし続けるための基盤を形成してきました。
- 一方、生活習慣病リスクの増加による健康寿命延伸に向けた取組の重要性の高まり、高齢化の進行による医療・介護のニーズの増大、多職種間による連携の必要性の高まり、介護・福祉人材不足の深刻化などが課題となっています。また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援体制のさらなる強化が求められています。
- 今後、市民の主体的な健康管理を促進するとともに、医療・介護・福祉の連携を強化し、在宅医療や介護、福祉サービスを一体的に提供できる体制整備を進めます。あわせて、認知症に対する理解促進や障害者の地域生活支援の充実、福祉・介護サービス基盤の強化と人材確保に取り組み、誰もが住み慣れた地域で安心して必要な支援を受けられるまちの実現を目指します。

健康・福祉・医療分野に関連するSDGsゴール



① 市民全体への健康意識の浸透と、持続可能な健康行動を促す環境整備が必要です。

左：特定健康診査受診率　右：特定保健指導実施率



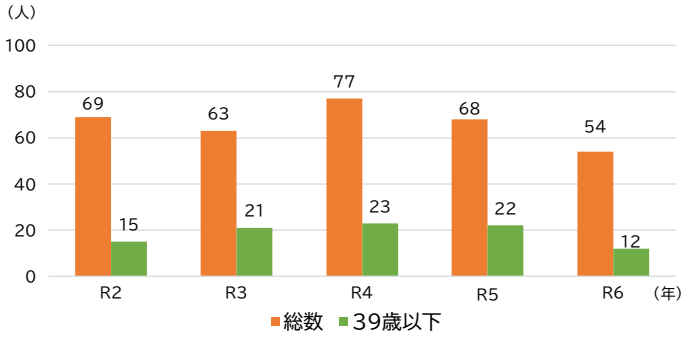
出典：富山市「富山市健康プラン21（第3次）」

※特定健康診査・特定健康指導：40 歳～ 74 歳の被用者保険（健康保険組合や全国健康保険協会等）や国民健康保険の加入者を対象に実施されており、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診および保健指導

健康づくりに積極的な層がある一方で、関心の薄い層への働きかけや、健康行動の変容には課題があります。誰もが無理なく「健康づくり」ができる環境の整備が必要です。

② 多様な福祉課題に対応するため、支援体制の充実が求められています。

自殺者数の年次推移

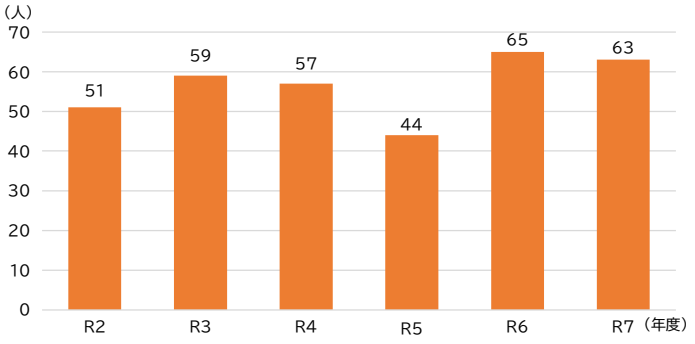


出典：厚生労働省「人口動態統計」

福祉課題が複雑化・複合化し、社会的孤立や心の健康問題、若年層の自殺問題が深刻化しています。分野別の支援だけでは対応が難しく、重層的な支援体制や精神保健福祉、自殺予防対策の強化が必要です。

③ 障害者や高齢者が安心して暮らせる支援体制の強化が求められています。

福祉施設からの一般就労への移行者数

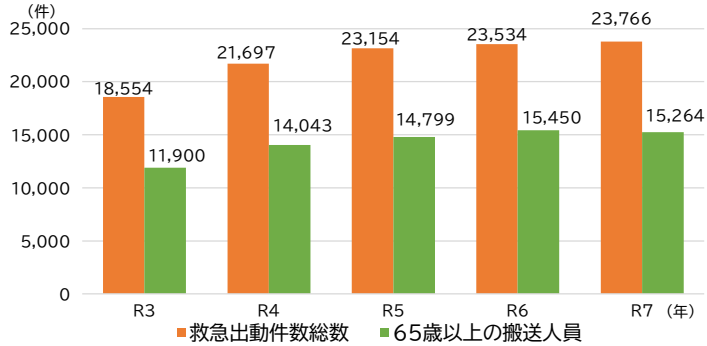


出典：富山市調査

障害者の福祉施設から一般就労への移行が進んでいない現状があり、職場での障害特性理解の促進や「親亡き後」の対策、また地域に密着した介護事業所の整備や介護人材の確保など、多様な課題への対応が求められています。

④ 地域の医療・保健・福祉のさらなる連携強化が求められています。

救急車の搬送件数の推移及び
その件数のうちの65歳以上の高齢者の搬送件数



出典：富山市消防局「消防年報」

高齢化の進行に伴い、在宅医療や介護の需要及び高齢者の救急搬送件数が増加しています。医療・保健・福祉の各分野が連携を強化することが求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

運動習慣者の割合

基準　25.8%（令和7年度）

目標　34.8%（令和13年度）

健康づくりに関する市民意識調査

心が健康だと感じている人の割合

基準　87.6%（令和7年度）

目標　向上

こころの健康に関する市民意識調査

健康な高齢者の割合

基準　前期高齢者95.8%
後期高齢者68.1%
（令和7年度）

目標　前期高齢者96%以上維持
後期高齢者67%以上維持
（令和13年度）

富山市調査

地域包括支援センターによる在宅復帰支援者数

基準　1,552人（令和7年度）

目標　1,762人（令和13年度）

富山市調査

政策 1

市民の健康づくりの推進

生活習慣病予防や感染症対策等、あらゆる世代に対する市民の健康支援施策を展開します。

施策 1 将来を見据えた健康づくりの強化

- 市民へ望ましい食生活や運動習慣等の知識普及啓発を行い、健康意識の向上を図ります。
- 企業や地域と連携し、就労世代を中心に自然と健康行動ができる環境を整備します。
- がん検診受診率の向上と、要精密検査者の100％受診に向けた支援を推進し、早期発見・早期治療を促進します。

施策 2 子どもの健康づくり

- 保護者や学校などの関係機関と連携し、子どもの健やかな成長と将来にわたる健康づくりを推進します。
- 小・中学生を対象に小児生活習慣病予防対策検診を実施し、健康状態の把握を行います。
- 医師や栄養士による個別指導を通じて、保護者も含めた生活習慣の改善に向けた意識を啓発します。

施策 3 感染症対策の強化

- 感染症の発生動向調査及び防疫体制を強化し、関係機関と連携して感染拡大を防止します。
- 専門職の人材確保と育成に注力し、継続的な研修と訓練の実施で対応力の向上を図ります。
- 予防接種の推進に向けて、個別通知による接種勧奨や情報発信を実施し、接種率の向上を目指します。

主な関連計画
- 富山市健康プラン21（第３次）
- 富山市新型インフルエンザ等対策行動計画

政策 2

支え合いによる福祉の充実

地域で支え合い、複雑化・複合化する福祉課題に対応する支援体制の充実を図ります。

施策 1 課題を抱える市民への包括的支援体制の整備

- 相談者の属性や世代を問わず、相談を受け止め、必要な支援を行うとともに、複雑化・複合化した課題については多機関が連携して対応する包括的な相談支援体制を整えます。
- アウトリーチ等の支援を通じて、ひきこもりなど自ら支援につながることが難しい方に対しても、継続的な支援を行います。
- 地域や社会への参加支援や、多様な担い手が連携する仕組みづくりを推進します。

施策 2 認知症の人を支える地域づくり

- 認知症になってからも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるという「新しい認知症観」の市民への普及を図り、認知症への正しい理解を深めます。
- 認知症の人の生活におけるバリアフリー化を推進し、社会参加の場を確保します。
- 早期診断や早期対応に向けた支援体制を構築し、支援の質を高めます。

施策 3 精神保健福祉対策の推進

- 専門職員による訪問・相談体制を強化し、メンタルヘルスに課題を抱えた方が安心して暮らすことのできる地域づくりを推進します。
- 関係機関と連携し、ひきこもり対策や退院後の支援など、多面的・重層的な支援を推進します。
- メンタルヘルスサポーターの育成と啓発活動を通じて、地域住民のメンタルヘルスに対する理解を深めます。

施策 4 自殺対策の推進

- 子どもから高齢者まで、地域の実情や特性に応じた相談支援体制を充実させます。
- 若年層のゲートキーパーの養成や、心の健康に関する啓発活動を強化し、自殺予防の連携を促進します。
- 心の健康に課題を抱えた方などに対し、保健や医療、社会参加や地域の助け合いなどを含めた包括的な支援体制を構築するとともに、相談に対応できる支援者の育成に取り組みます。

主な関連計画
- 富山市地域福祉計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン
- 富山市自殺対策総合戦略

政策 3 高齢者・障害者が安心して暮らし活躍できる地域づくり

地域で誰もが安心して暮らせる福祉環境づくりを推進します。

施策 1 フレイル予防・介護予防活動の推進

- 多様な介護予防プログラムや運動教室を開催し、健康寿命の延伸につなげます。
- 介護予防の推進リーダーや運動指導者の育成を推進し、身近な地域での介護予防運動の普及を図ります。
- 個々の高齢者の状態に応じたパワーリハビリテーションを実施し、運動機能の維持・改善を図ります。

施策 2 高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進

- 高齢者がこれまで培ってきた豊富な経験と知識を生かし、地域社会の活性化に貢献するとともに、健康で生きがいのある生活を送れるよう支援します。
- シルバー人材センターと連携し、高齢者の就労機会を拡大します。
【関連施策】産業・雇用　政策３－施策１
- 老人クラブなどの団体への活動支援により、高齢者が社会活動に参加できる仕組みづくりを進めます。
【関連施策】地域コミュニティ　政策１－施策３

施策 3 介護サービスの拠点整備と介護等従事者の確保

- 住み慣れた自宅や地域での生活を支える、地域密着型介護サービス事業所の整備を支援します。
- 介護人材を確保するため、県外からの介護従事者の移住を支援します。
- 介護分野への就職に結びつくよう、介護の仕事・職場に対する理解を深める機会を充実するとともに、就労を希望する学生の資格取得支援や、市内事業所とのマッチングを推進します。
- ＩＣＴや介護ロボット等の活用を促進し、業務効率化及び職員の業務負担軽減により、人材の定着を推進します。

施策 4 障害者の地域生活支援

- 地域での日常生活を支える障害者グループホームの整備を支援し、地域移行の環境を整えます。
- 就労に必要な知識や能力の向上を図る就労移行支援事業所等の整備を支援するとともに、ハローワーク等の関係機関との連携により、就労を希望する障害者の一般就労への移行を支援します。

主な関連計画
- 富山市障害者計画・富山市障害福祉計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン

政策 4 地域で支え合う包括的な医療・保健・福祉体制の構築

医療・保健・福祉が連携した切れ目のない支援体制を構築します。

施策 1 市立病院における医療提供体制の充実、連携強化

- 新たな地域医療構想や医療ニーズの変化を踏まえ、老朽化が進む市民病院やまちなか病院の施設の再整備を検討します。
- 地域医療支援病院として、市民病院で医療従事者向け研修や症例検討会を開催し、かかりつけ医との連携強化を推進します。
- まちなか病院の在宅療養支援センターを中心に、地域の在宅医療と病院医療の連携を深め、包括的な医療提供を図ります。

施策 2 在宅医療・介護の連携推進

- 地域包括ケアシステムの推進により、医療や介護の関係機関等が連携上の課題を共有し、それらの解決に向けた方策を検討することで、協働・連携体制の強化を図ります。
- 地域の医療や介護の資源を整理し、医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供します。
- まちなか診療所やまちなか総合ケアセンターによる在宅医療を推進し、安心して暮らせる医療・介護体制の充実を図ります。
- 要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、相談窓口や情報誌、研修などを通じて人生の最期の過ごし方を家族等周りの信頼する人たちと話し合う重要性を啓発します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン
- 富山市病院事業中長期計画

分野
04

スポーツ

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

スポーツを「する・みる・ささえる」社会を実現し、スポーツを通じて人々が「つながる・あつまる」場をつくり、地域の活性化を目指します。

- 富山市はこれまで、生涯スポーツの推進や競技スポーツの振興、スポーツ拠点の整備、全国大会等の開催支援など、市民誰もがスポーツを身近に感じ、楽しむことができる環境づくりに努めてきました。
- 一方、運動習慣のない年代へのアプローチや、子どもたちが成長してもスポーツを楽しみ続けられる環境づくりが課題となっています。また、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じて人々が集まり、交流する機会を拡大し、地域の活性化やまちの賑わいの創出につなげることが期待されています。
- 今後、スポーツを「する・みる・ささえる」社会の実現に向けて、市民一人ひとりが自分の状況に応じてスポーツに親しみ続けられる環境づくりや、将来のトップアスリートの育成及び競技力の向上を支える体制の整備を進めます。また、魅力あるスポーツ拠点を創出し、スポーツを通じて人々が「つながる・あつまる」場を作り、スポーツを通じたまちの賑わいの創出と地域の活性化を目指します。

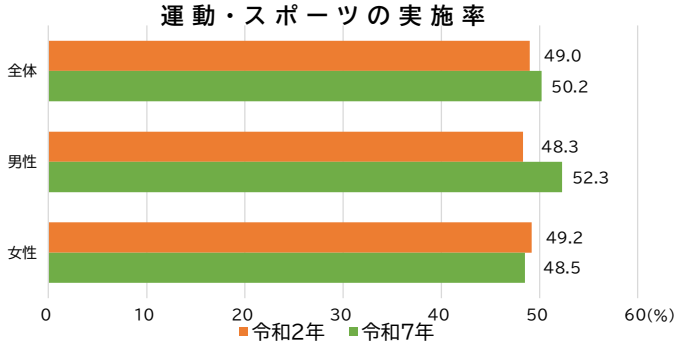
スポーツ分野に関連するSDGsゴール



スポーツ

① 誰でもいつでも気軽に運動やスポーツを楽しめる環境づくりが必要です。

市民（16歳以上）の週1回以上の運動・スポーツの実施率

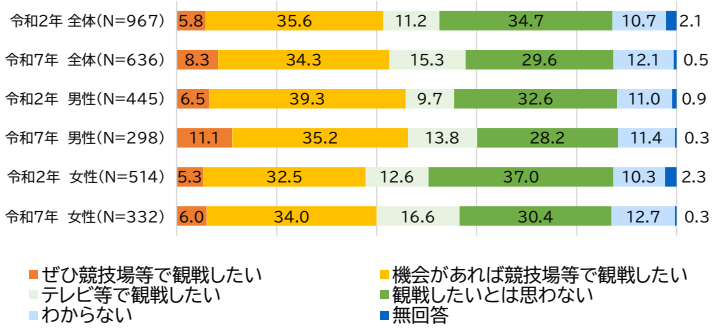


出典：富山市「スポーツに関する市民意識調査」

週1回以上の運動習慣がない大人や、運動への苦手意識がある子どもが見受けられます。心身の健康維持のためには、運動習慣を身に付けることが大切であり、自分の状況に応じて、誰でも気軽に運動やスポーツを楽しめる環境が必要です。

② スポーツを「観て、応援する」気運の醸成が求められています。

地域のプロスポーツの観戦意向

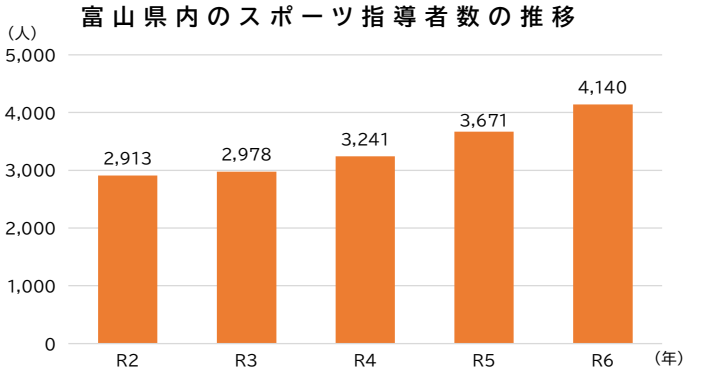


出典：富山市「スポーツに関する市民意識調査」

地域のプロスポーツを観戦したいと思わない市民も、一定程度いる状況です。トップレベルのスポーツを観ることは、市民に夢を与え、スポーツの振興にもつながることから、スポーツを「観て、応援する」文化の醸成が求められます。

③ 初心者からプロを目指す人まで、スポーツに取り組める体制づくりが必要です。

富山県内のスポーツ指導者数の推移

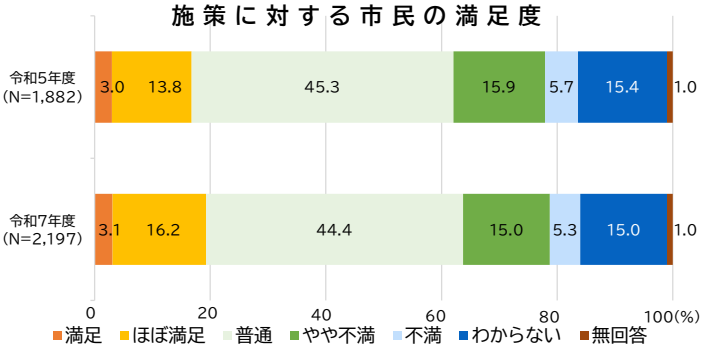


出典：日本スポーツ協会「公認スポーツ指導者認定状況」

富山市出身の選手の活躍は、市民に感動と夢を与え、スポーツへの関心を高める大きな効果があります。世界で活躍できる選手を輩出するためには、ジュニア期からの一貫した育成が必要であり、団体や指導者の活動を支える体制づくりが必要です。

④ スポーツを通じて、人々が集い、交流する場の創出が求められています。

「スポーツ・レクリエーション活動の振興」の施策に対する市民の満足度



出典：富山市「富山市民意識調査結果報告書」

スポーツへの参加や観戦は、人々が集まり交流する機会となり、地域の活性化やまちの賑わい創出につながります。市民がスポーツに関する情報をいつでも簡単に入手でき、スポーツに参加したくなったり、観戦に足を運びたくなるような、魅力あるスポーツ拠点の創出が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

成人(16歳以上)の市民の週1回以上のスポーツ実施率

基準 50.2%（令和7年度）

目標 65.0%（令和12年度）

スポーツに関する市民意識調査

地域のプロスポーツの観戦率

基準 ＜競技場等＞ 成人：12.6%、児童生徒：27.2% ＜テレビ等＞ 成人：20.9%、児童生徒：23.6%（令和7年度）

目標 ＜競技場等＞ 成人：20.0%、児童生徒：35.0% ＜テレビ等＞ 成人：25.0%、児童生徒：35.0%（令和12年度）

スポーツに関する市民意識調査

競技人口に占める指導者の割合

基準 6.2%（令和7年度）

目標 6.5%（令和13年度）

富山市調査

スポーツを通じた交流に意義を感じている市民の割合

基準 26.3%（令和7年度）

目標 30.0%（令和12年度）

スポーツに関する市民意識調査

政策 1 誰もが楽しくスポーツを「する」環境づくり

誰もが身近な場でスポーツに親しめる環境の充実を図ります。

施策 1 多様な主体がスポーツを楽しむ機会の創出

- 各世代に応じた運動プログラムの提供やスポーツイベントの開催などを通じて、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。
- 障害者スポーツの普及促進を目的とした団体の設立・運営支援や、障害者関係団体等との連携により、障害者スポーツの推進を図ります。
- 子どもが運動・スポーツに取り組む習慣を身に付けられるよう、学校やスポーツ関係団体と連携し、運動・スポーツに親しむ機会を提供します。
- アーバンスポーツの普及促進を図るため、イベントの開催等により認知度を高め、多様な市民のスポーツ参加を促進します。

施策 2 安心・安全・快適で、持続可能なスポーツ施設の整備

- スポーツ施設の計画的な改修や設備更新により、施設のＬＥＤ化など、施設の長寿命化を図り、安心・安全・快適に利用できる環境を整備します。
- 民間の力を生かした効率的な運営手法を取り入れ、持続可能な施設運営を推進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 第２次富山市スポーツプラン

政策 2 トップレベルのスポーツを「みる」環境づくり

スポーツを観て応援する文化を育み、スポーツへの関心を高めます。

施策 1 プロスポーツチームと連携した「応援する」機運の醸成

- 市内を拠点とするプロスポーツチームと連携し、市民デーなどの試合情報を積極的に広報し、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供します。
- 市民が選手と交流できるイベント等の実施や、学校・地域との連携事業を通じて、地元プロスポーツチームへの愛着やスポーツへの関心を高めます。

施策 2 スポーツ大会の誘致による観戦機会の創出

- 国際大会や全国規模のスポーツ大会、地域独自の特色ある大会の開催を支援し、市民が身近にスポーツを観る機会の充実を図ります。
- 大会開催地や合宿地として選択されるよう、施設の特徴や地域の魅力などについて、スポーツ団体、観光・経済団体等と連携し、情報発信を行います。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 第２次富山市スポーツプラン

政策 3

スポーツ活動を「ささえる」環境の整備

初心者から競技スポーツを目指す人まで、誰もがスポーツに取り組める環境を整備します。

施策 1

トップアスリートの育成・強化体制の確立

- ジュニア期から中・長期的な育成を行えるよう、競技団体を支援し、一貫した指導体制を確立します。
- 全国レベルで活躍する選手・指導者を外部講師として招聘し、選手の競技力向上と指導者の資質向上を図ります。
- 富山市を代表するスポーツについては、ジュニア育成の成果を踏まえ、定期的に対象種目を見直し、重点的に支援します。

施策 2

スポーツ活動を支える団体や指導者への支援

- 市民が生涯にわたってスポーツに取り組めるよう、地域におけるスポーツ活動を支える団体の運営を支援します。
- 指導者の質の向上を図るため、研修・講習会の開催や、指導者の資格取得を支援します。
- 選手の強化活動に貢献した指導者等に対し、社会的評価を高めるために表彰を行うなど、顕彰制度の充実を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 第２次富山市スポーツプラン

政策 4 スポーツで「つながる」交流と賑わいの創出

スポーツを通じて人が集い、地域に交流と賑わいを生み出します。

施策 1 スポーツを通じた集まる機会創出と交流促進

- スポーツ活動の拠点となるスポーツ施設に、多くの人々が集い、交流が生まれるよう、魅力ある拠点づくりを進めます。
- 市民が必要なスポーツ情報をいつでも簡単に入手できるよう、スポーツイベントや施設利用等に関する情報を一元化し、わかりやすく提供します。
- スポーツ施設の利用予約をオンライン化するなど、利用しやすい施設運営を進めます。

施策 2 まちなかのアリーナを拠点とした賑わいの創出

- 民間ノウハウを活用した自由度の高い運営により、プロスポーツの興行や質の高いエンターテイメントを提供し、周辺エリアの活性化を図ります。
- イベントの開催等にあわせ、交流・滞在・消費につながる取組を展開し、スポーツを契機とした関係人口の創出や地域の活性化を図ります。

【関連施策】観光・交流　政策３－施策２

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 第２次富山市スポーツプラン

分野
05

地域コミュニティ

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

多様な人が支え合い、地域の活動や文化の継承を通じて、安心して暮らせる地域コミュニティづくりを進めます。

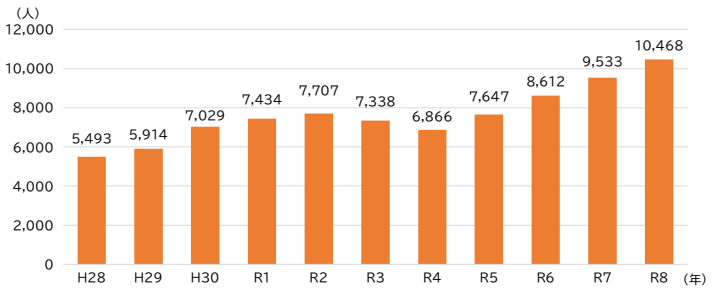
- 富山市では、町内会や自治振興会、公民館活動、地域の祭りや行事などを通じて、住民同士が支え合い、地域の暮らしを支える基盤が培われてきました。
- 一方、人口減少や少子高齢化の進行により、地域活動の担い手不足や、住民同士のつながりの希薄化が進んでおり、地域活動の継続に課題が生じています。
- 今後、ICTを活用した地域活動の効率化や、多世代の地域参加を促進するとともに、公民館などの地域拠点機能の向上を図ります。また、多文化共生や男女共同参画を推進し、誰もが地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。さらに、地域の伝統文化や文化遺産の保存・活用、ふるさと意識の醸成を通じて、地域への愛着とつながりを育みます。

地域コミュニティ分野に関連するSDGsゴール



① 誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、さらなる対応が求められています。

外国人住民数の推移

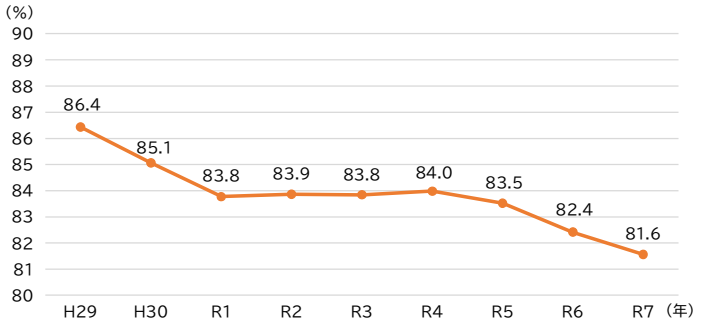


出典:富山市「人口統計(外国人の人口と世帯)」

人口減少・少子高齢化が進み、外国人の住民が増加するなか、互いの文化や慣習を理解し、共に暮らす地域づくりが求められています。また、誰もが活躍の場を持ち活き活きと暮らすため、固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を解消することが課題となっています。

② 地域活動の担い手不足と負担の軽減が、重要な課題となっています。

町内会加入率の推移

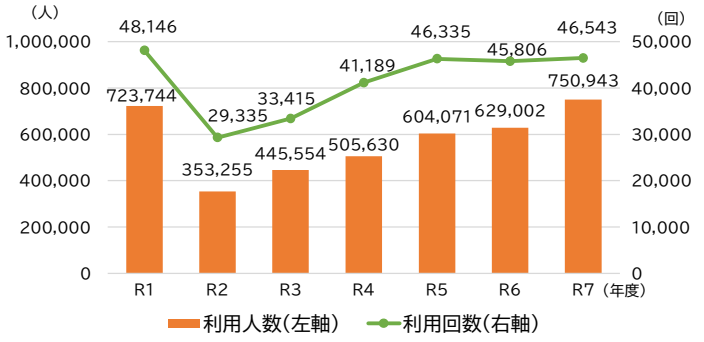


出典:富山市調査

少子高齢化やライフスタイルの変化により、町内会の担い手が減少し、地域活動の継続や運営に課題が生じています。多世代が継続的に関わる、効率的な仕組みづくりが求められています。

③ 地域交流拠点の利便性向上に取り組む必要があります。

公民館利用者数・利用回数の推移(年度別)



出典:富山市調査

市立公民館は地域住民の交流や学びの重要な拠点ですが、施設の老朽化への対応や、より利用しやすい施設環境の整備が求められています。

④ 地域の魅力の維持や、特色のある地域行事の継承が課題となっています。

写真

担い手不足により、地域で代々受け継がれてきた行事の継続が難しい状況となっています。世代を超えた関わりを推進し、行事を継承するための取組への支援が必要とされています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

自治会・町内会などの地域活動において男女平等と感じる市民の割合

- 基準 27.4%(令和7年度)
- 目標 32.4%(令和12年度)

男女共同参画に関する市民意識調査

電子回覧板利用世帯数

- 基準 10,608世帯(令和7年度)
- 目標 80,000世帯(令和13年度)

富山市調査

公民館利用者数

- 基準 587,040人(令和3~7年度平均)
- 目標 700,000人(令和13年度)

富山市調査

「町内会の活動やお祭りなど地域コミュニティに関する行事に参加している」と回答した市民の割合

- 基準 36.0%(令和7年度)
- 目標 38.0%(令和12年度)

富山市民意識調査

政策1 多様な人々が支え合う地域づくり

地域の多様な主体が支え合う、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指します。

施策1 多文化共生の推進

- 市民、事業者、民間団体等と連携・協働し、地域の実情に即した多文化共生推進施策を講じることで、相互理解と共生意識の醸成を図ります。
- 外国人住民が地域で安心して暮らせるよう、多言語や分かりやすい日本語による生活・防災情報等の発信や、相談体制の充実に努めます。

施策2 男女共同参画社会の推進

- 地域での啓発活動などを通じて、社会全体の男女共同参画に関する正しい理解の促進と意識醸成を図ります。
- 若者向けのイベントや男女共同参画推進センターにおける啓発講座の開催等により、性別に基づく偏見や固定観念を見直し、ジェンダー平等や多様性への理解を促進します。
- ＤＶ相談等の相談支援や啓発活動を通じて、あらゆる暴力を許さない意識の醸成と、安心して暮らせる社会づくりを進めます。

施策3 高齢者・障害者の社会参加支援

- 高齢者が豊富な経験と知識を生かして地域社会に貢献し、生きがいのある生活を送れるよう、就労や社会活動参加への支援を行います。
  【関連施策】健康・福祉・医療・福祉　政策３－施策２
- 障害者の就労移行支援事業所等やグループホームの整備を支援し、地域で安心して生活できる環境づくりと就労先での理解促進を図ります。
  【関連施策】健康・福祉・医療　政策３－施策４

主な関連計画
- 富山市男女共同参画プラン
- 富山市障害者計画・富山市障害福祉計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン

政策 2

地域を担う人材の育成と活動の促進

地域の担い手を育成し、ICT活用と多世代連携で、元気な地域社会の形成を目指します。

施策 1

ICTを活用した地域活動の活性化

- 電子回覧板アプリなどデジタル技術の活用により、地域活動の効率化や幅広い世代の参加促進、担い手の負担軽減を図るとともに、平常時から災害時までの円滑な情報共有や連絡体制を推進することで、安全で安心な地域づくりを進めます。
- 高齢者の方々がスマートフォンをはじめとするデジタル機器を積極的に活用できるよう、各種講座を実施します。

【関連施策】地域コミュニティ　政策1－施策3

施策 2

地域活動への参画促進・担い手育成

- 町内会等が抱える地域課題の解決や、地域の魅力向上につながる地域主体の新たな取組、若年層との交流を促進する取組等への支援により、「元気な地域」の形成を推進します。
- 地域における災害対応力向上のため、防災リーダーとなる人材の育成を推進します。

【関連施策】防災・防犯　政策1－施策1

- 自主防犯組織の活動を支援し、地域の防犯活動の質の向上と担い手の確保を図ります。

【関連施策】防災・防犯　政策2－施策1

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市地域防災計画
- 富山市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画

政策 3

地域拠点を生かした交流の促進

公民館などの地域拠点を生かし、住民同士の交流や活動が広がる地域づくりを進めます。

施策 1

コミュニティ活動の拠点整備

- 地域住民が集い、学び、交流できる場である、市立公民館の整備を推進します。
- 利用申請の電子化やスマートロックの導入といったデジタル技術などにより、公民館の利便性と地域活動の拠点性向上を図ります。

施策 2

地域拠点を活用した交流機会の創出

- 公民館をはじめとした公共施設を活用し、地域住民が気軽に集い、つながる機会の創出を支援します。
- 地域の住民や団体、事業者等が連携して実施する、買物支援、移動支援、交流イベントなどの取組を促進し、身近な拠点を中心とした地域の活性化を図ります。

施策 3

中山間地域の地域資源を生かした交流の促進

- 富山市全体の豊かさを支える中山間地域において、移住・定住の促進と、多様な担い手の確保により、住民主体の地域づくりを支援します。
- 地域住民が、地域の将来像を描き、共有できるよう、話し合いやビジョンづくりを促進します。
- 豊かな自然、歴史ある生活文化、なりわいなど、中山間地域固有の地域資源を活かし、交流と活力を創出しながら、安心して暮らし続けられる場所として次世代に継承します。

取組の写真、イラストなど

政策 4

地域の誇りを受け継ぐふるさとづくり

地域の祭りや歴史、自然などを生かした住民主体の活動を通じて、地域の愛着と誇りを受け継ぎます。

施策 1

ふるさとづくりの推進

- 地域の特性を生かした公民館活動やふるさとづくり事業により、身近な学びと交流の機会を創出し、多世代のつながりを育みます。
- 地域の祭りや文化祭など、住民が主体となって取り組む地域活動を支援し、地域の連帯感とふるさとへの愛着を醸成します。

施策 2

地域の伝統行事等の継承支援

- 町内会等が地域の伝統、歴史、自然などの地域資源を生かして取り組む活動を支援し、地域への愛着や住民同士のつながりを育みます。
- 途絶えていた伝統行事の復活など、地域による伝統文化の継承に向けた取組を支援します。

【関連施策】文化・芸術　政策３－施策２

取組の写真、イラストなど

分野
06

郷土愛

写真①

写真②

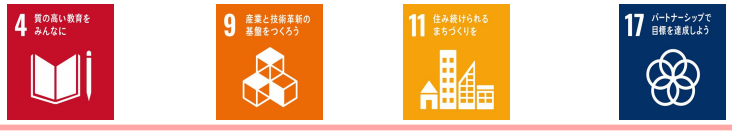
写真③

〔取組の方向性〕

富山市の魅力発信とふるさと教育を通じ、世代を超えて郷土愛を深める取組を推進します。

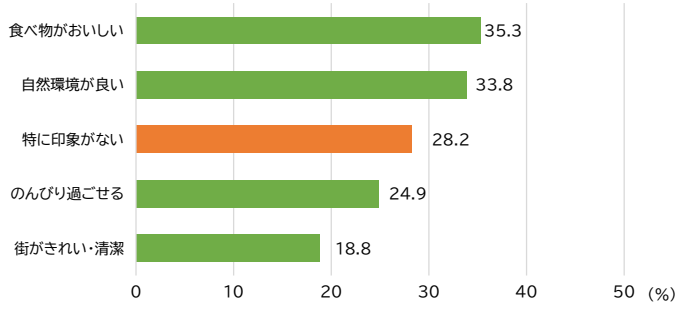
- 令和７年度に実施した「富山市民意識調査」では、男女とも「富山市に住み続けたい」と考える市民が８０％を超えているほか、住み続けたい理由としては「地域になじみや愛着があるので」と答える市民が最も多いという結果になっています。こうした市民の愛着は、富山市の魅力発信や移住・定住、次世代へのふるさと教育につなげていくべき、重要な財産です。
- 一方、若年層を中心に市内定着意識の低下もみられ、若い世代、中でも若年女性の転出や、Uターン促進が課題となっています。市民自らが富山市の魅力を発信する取組の推進や、ふるさとへの理解を深める子どもたちへの教育の充実が必要です。
- 今後、市外に向けた魅力発信と移住・定住の促進、市民のシビックプライド醸成、子どもたちへのふるさと教育を連動させ、富山市への愛着と共感を内外に広げます。

郷土愛分野に関連するSDGsゴール



① 富山市の魅力発信のさらなる強化が求められています。

大都市圏イメージ調査の結果（令和８年度調査）

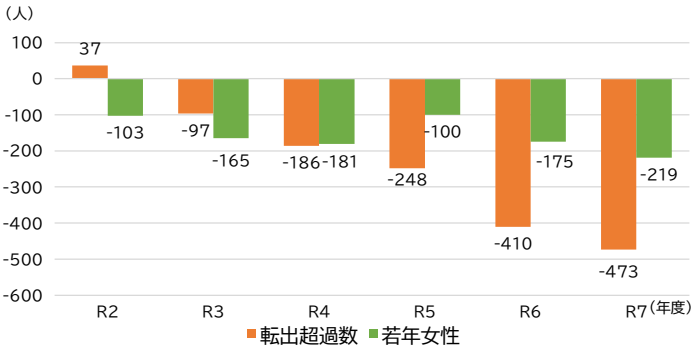


出典：富山市調査

大都市圏イメージ調査で約３割が富山市に「特に印象がない」と回答しており、市外での認知度向上が課題です。戦略的な情報発信を進め、富山の魅力を効果的に伝えることが必要です。

② 若年層の流出と、Uターン促進が課題になっています。

若年世代（１５～３４歳：日本人）の転出超過

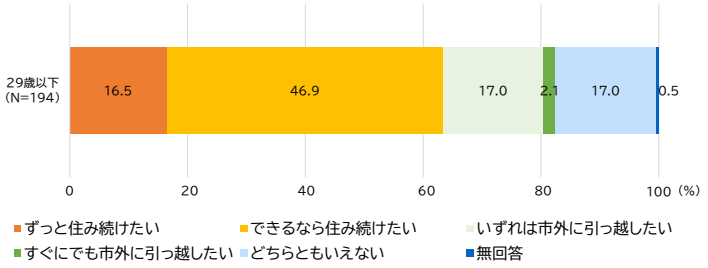


出典：富山県「人口移動調査」

富山市は全体で転入超過傾向にあるものの、１５～３４歳の若年層、特に若年女性は転出超過が続いています。進学・就職で転出した若者のUターン促進や、定住促進策の充実が必要です。

③ 市民の郷土愛は強いものの、若年層の愛着醸成に課題があります。

富山市民意識調査「富山市に住み続けたい」と回答する２０代以下市民



出典：富山市「富山市民意識調査結果報告書（令和7年度調査）」

富山市民意識調査では「富山市に住み続けたい」と回答する市民は約８割と高水準ですが、２０代以下では減少傾向です。ＳＮＳ発信やまちづくり参加を促し、富山市への愛着を深める取組が必要です。

④ 子どもたちがふるさとの理解を深める教育の充実が求められています。

写真

郷土の歴史や文化を体験し理解を深める教育を充実させることで、子どもたちが富山市への愛着を持ち、一度転出しても再び戻りたいと思う気持ちを育むことが必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

富山市の魅力を自ら発信している市民の割合

基準 新規

目標 52%（令和12年度）

富山市民意識調査

移住者数（移住相談窓口を通した県外からの移住者数）

基準 230人（令和7年度）

目標 450人（令和13年度）

富山県調査

富山市に対して「推奨」・「参加」・「感謝」する意欲があると回答した市民の割合

基準 ①推奨意欲 17.8%
②参加意欲 18.4%
③感謝意欲 56.1%
（令和7年度）

目標 ①推奨意欲 21.8%
②参加意欲 20.4%
③感謝意欲 58.1%
（令和12年度）

富山市民意識調査

地域の自然や文化財を巡る参加型学習の満足度

基準 新規

目標 50%（令和13年度）

富山市調査

政策 1

市の魅力発信と移住定住の促進

市の魅力発信と広域連携で、移住定住促進に取り組みます。

施策 1

シティプロモーションの推進

- 市外居住者、特に若い世代をターゲットに、SNSや各種媒体を活用し、富山市の魅力を戦略的かつ効果的に発信します。
- 情報発信を通じて富山市への興味・関心を高め、交流人口や関係人口の拡大を推進します。

施策 2

富山市の魅力を生かした移住定住の促進

- 移住希望者との交流の場や、SNSなどのデジタル技術を活用し、富山市での暮らしの魅力を地方移住検討者に戦略的に発信することで、富山市への移住を促進します。
- 移住コンシェルジュによる継続的な支援を行い、移住検討段階から移住後の暮らしまで一貫して寄り添うことで、移住者の定住をサポートします。
- 市内外の若者に対し、富山市で働き暮らす魅力を伝えることで、ふるさとの愛着を育み、若者の定着やUIJターン促進を図ります。
- 先輩移住者による情報発信を促進し、富山市での日常の暮らしの魅力を広げることで、さらなる移住者や関係人口の拡大につなげます。

施策 3

近隣市町村との連携による魅力創出

- 富山広域連携中枢都市圏の5市町村が連携して事業を推進し、域内全体の魅力を高めます。
- 自治体間で資源を有効活用し、広域的な住民サービスの維持・向上と関係人口・交流人口の増加を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市シティプロモーション推進指針

政策 2

ふるさとへの理解と誇りの醸成

多様な市民参加型事業で、地域の誇りと愛着を育みます。

施策 1

シビックプライドの醸成

- 「AMAZING TOYAMA」をキーワードに、市民の誇りや愛着を育む、シビックプライド醸成に向けた取組を推進します。
- 市内の風景や暮らしを写した写真展やワークショップなどを通じて、地域への理解と愛着を深める機会を創出します。
- 進学や就職で富山市を離れた方も含め、SNS等で富山市の魅力や暮らしの良さに触れることで、「帰ってきたい」「住み続けたい」と思う気持ちを育む取組を展開します。
- (仮称)とやまくすりミュージアムを整備し、富山市の産業発展の礎となった配置薬業をはじめとした「富山のくすり」に関する情報発信や、子どもたちを中心に幅広い層の人々が参加できる体験学習プログラムを実施するなど、地域産業への誇りや愛着を育みます。

施策 2

ふるさと教育の推進

- 小学生を対象に、地域の自然や文化財を巡る参加型学習を実施し、郷土への理解と愛着を深めます。
- 歴史や文化、人とのつながりや生活など様々な地域資源の学びを通じて、子どもたちのふるさとを大切にする心を育みます。

【関連施策】文化・芸術　政策3－施策2

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市シティプロモーション推進指針
- くすり関連施設基本構想・基本計画
- 富山市文化財保存活用地域計画

分野
07

行政・パートナーシップ

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

産学官民の創意と知見を生かして、変化のスピードが速い現代社会に柔軟に対応できる行政基盤を確立します。

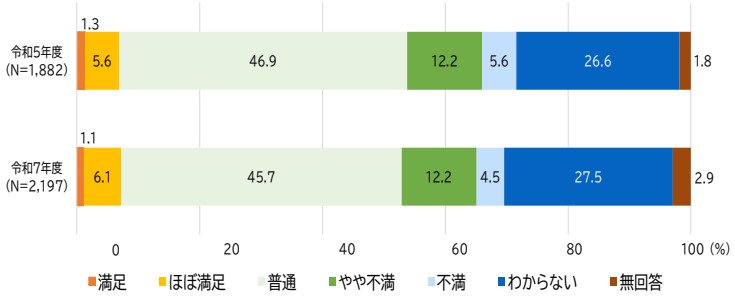
- 富山市はこれまで、市民との協働や、産学官民との連携、行政改革の推進などにより、行政課題の解決や時代に応じた行政運営体制の確立に努めてきました。
- 一方、グローバル化・高度情報化が急速に進展し、将来の予測が困難な現代社会において、行政課題は多様化・複雑化しており、行政のみの視点では、すべてに対応することがますます難しくなっています。また、少子高齢化の急速な進行により、行政経営資源が制約を受けるなかでも、将来にわたって行政の機能を発揮し続ける必要があります。
- 今後は、産学官民の創意と知見をまちづくりに生かすため、新たな価値を生みだし、行政課題の解決に主体的に取り組む環境を整備します。また、持続可能な行政基盤を確立するため、人材育成と働き方改革を進めるとともに、限られた行政経営資源を最大限に有効活用できるよう、デジタル技術を活用した業務改革と魅力ある公共施設への転換を推進します。

行政・パートナーシップ分野に関連するSDGsゴール



① 地域課題の解決のために、市民のまちづくりへの積極的な参画が求められています。

「市民主体のまちづくり」の施策に対する市民の満足度



出典：富山市「富山市民意識調査結果報告書」

行政サービスへの市民ニーズや地域課題は多様化・複雑化しています。それらに対応するために、行政の視点だけではなく、市民の創意が求められており、市民がまちづくりに参画しやすい仕組みづくりが必要です。

② 持続可能なまちづくりを進めるため、多様な主体が連携することが必要です。

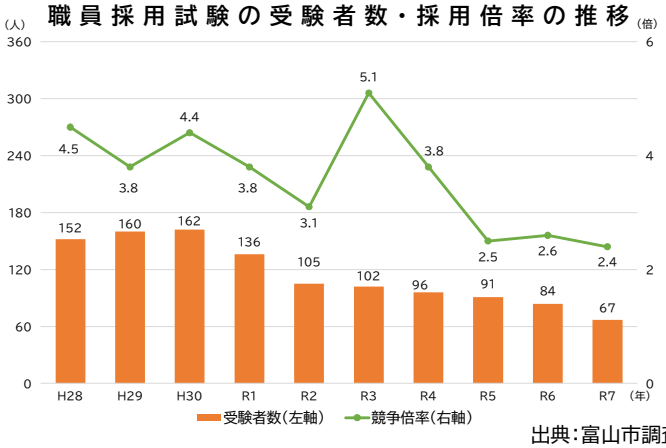
写真

（ワンチームの写真）

少子高齢化・グローバル化・高度情報化の急速な進行により、将来の予測が難しい社会となっています。変化しやすい行政課題に対応するためには、広域的な視点や、大学や企業等の専門的知見が必要です。

③ チャレンジを楽しみ、多様化する行政課題に対応できる職員の確保・育成が必要です。

職員採用試験の受験者数・採用倍率の推移

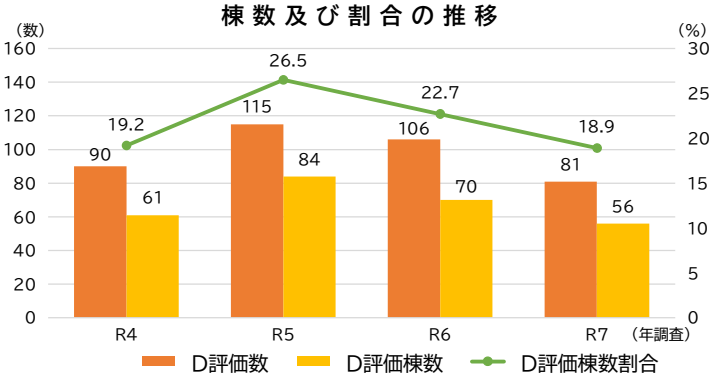


出典：富山市調査

少子化による生産年齢人口の減少等により、人材確保はますます厳しい状況となっています。多様化する行政課題に適切に対応できる職員を確保するためには、人材育成や働き方改革の推進が必要です。

④ 持続可能な行政基盤を確立するためには、デジタル技術の活用や公共施設の在り方の見直しが必要です。

劣化状況調査によってD評価となった棟数及び割合の推移



出典：富山市調査
※D評価：「早急に対応が必要」と判定されたもの

人口減少・少子高齢化の進行に伴い、行政経営資源が制約されるなかでも、将来に渡って、自治体としての機能を発揮し続ける必要があります。そのためには、業務の効率化や公共施設の見直しなどにより、限られた資源を最大限に有効活用することが必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

まちづくりの主体であるという意識を持ち、地域をより良くするために行動している市民の割合

基準 新規

目標 30%（令和12年度）

富山市民意識調査

SCRUM-Tへの参加企業数

基準 283企業・団体（令和7年度）

目標 360企業・団体（令和13年度）

富山県調査

行政手続におけるデジタルサービスの利用率

基準 新規

目標 前年度比2%増（令和13年度）

富山市調査

基礎的財政収支

基準 黒字（令和6年度）

目標 黒字（令和13年度）

富山市調査

政策 1 市民主体のまちづくりの推進

まちづくりに参加しやすい仕組みの中、市民と行政が共にまちを創ります。

施策 1 市政への市民参画の推進

- 市民と市政の情報を共有するため、広報紙、ＳＮＳなど、多様な情報媒体を活用し、効果的に情報を発信します。
- タウンミーティングの開催などにより、市民に施策などを説明し、市民の多様な意見を聞く場を整備します。
- 市民のニーズに沿ったまちづくりを推進するため、市政の計画段階からの市民参画を促進します。

施策 2 市民の創意と主体性を生かしたまちづくりの推進

- 市民同士の対話の場づくりを進め、新たな価値の創造と地域課題の解決に取り組む意識の醸成を図ります。
- 市民活動に関する情報発信や参加機会の提供などにより、市民が主体的に活動へ参加できる環境づくりを進めます。
- 地域に関係する多様な主体とそれぞれの特性を生かして連携・協力し、協働による地域課題の解決を推進します。

施策 3 ＳＤＧｓの普及展開と担い手の育成

- ＳＤＧｓに関するイベントやワークショップを継続的に開催し、情報発信を積極的に行うことで、ＳＤＧｓの普及展開を進めます。
- ＳＤＧｓの推進に取り組む担い手を育成するため、「ＳＤＧｓサポーター」の募集・登録を進めます。
- 教育機関と連携し、ＳＤＧｓの視点から地域の課題を考え、解決に向けて行動できる子どもの育成を図ります。

主な関連計画
- 富山市行政改革大綱

政策 2 多様な主体との連携の推進

地域の多様な主体と手を取り合い、持続可能なまちづくりを進めます。

施策1 県や近隣市町村との連携

- 富山広域連携中枢都市圏の市町村と連携し、圏域全体の住民サービス向上と地域の活性化を図ります。
- 「ワンチームとやま」連携推進本部会議において、県と市町村間の課題共有を図り、連携した取組を推進します。

施策2 高等教育機関との連携

- 高等教育機関との連携・協力を推進し、専門的な知見や学生の柔軟なアイデアを活用し、地域課題の解決を図ります。
- 高等教育機関への支援を行うことにより、教育研究環境の充実を図り、地域を担う人材を育成します。
- 高等教育機関の魅力を向上させることで、若者で賑わうまちの実現を目指します。

施策3 産学官民の連携による共創の推進

- 産学官民が連携するプラットフォームを提供することで、オープンイノベーションを推進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山広域連携中枢都市圏ビジョン
- 富山市スマートシティ推進ビジョン

政策 3

挑戦と成長を促すスマートな行政基盤の確立

複雑化・高度化する行政課題に対応できる行政基盤を創ります。

施策 1

スマート自治体の実現

- 行政サービスを支える事務処理等の内部業務を、デジタルツールを活用して見直し、職員の生産性向上を図ります。
- デジタル技術を活用して窓口業務を改善し、「書かない、待たない、迷わない、行かない」窓口サービスを実現します。
- 市が保有する行政データを、職員が安全かつ効果的に利用できる基盤を整備し、ＥＢＰＭ（証拠に基づく政策立案）を推進します。
- 職員のデジタル利活用能力を高める人材育成・確保の仕組みを構築し、持続可能なＤＸ推進体制を確立します。

施策 2

多様な行政ニーズに対応できる人材の育成・確保

- 複雑化・高度化する行政課題に対応できる人材を育成するため、職員の意識改革を進め、行政ニーズに対応した研修により職務能力の向上を図ります。
- 安定的・継続的に人材を確保するため、業務改革や職場環境の向上に取り組み、職員の働き方改革を推進します。

施策 3

健全な行財政運営に向けた公共施設マネジメント

- 公共施設の在り方を時代のニーズに応じて見直し、施設の数・配置・機能を最適化します。
- 公共施設を市民共有の資産と捉え、施設本来の用途にとらわれない柔軟な活用や、未利用・低利用施設の転用、民間活力の導入などにより、市の財政負担を減らしつつ、新たな価値の創出と持続的な利活用を進めます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画

- 富山市行政改革大綱
- 第５期富山市行政改革実施計画・富山市ＤＸ推進計画
- 富山市公共施設等総合管理計画
- 富山市公共施設マネジメントアクションプラン

背景に富山市の風景などの写真を挿入

分野
08

都市・交通

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

コンパクトシティ政策とスマートシティ政策の融合により、地域の魅力を生かしながら、誰もが安心して暮らし続けられる安全で快適なまちづくりを進めます。

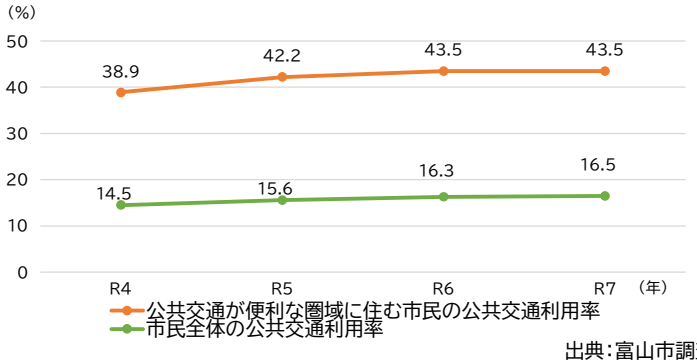
- 富山市は、公共交通の活性化や公共交通沿線への居住推進、拠点の活性化などのコンパクトシティ政策を推進してきたことで、持続可能で魅力ある都市構造への転換が進みつつあります。
- 一方、人口減少や少子高齢化の進行、また今後見込まれる世帯数の減少に伴い、公共交通の持続可能性の低下や空き家・空き地の増加による生活環境の悪化などの課題が深刻化しています。さらに、老朽化した社会インフラの維持管理費用が増大し、安全性の確保や頻発・激甚化する災害への対策も急務となっています。
- 今後、コンパクトシティ政策をデジタル技術を活用したスマートシティ政策で補完・融合しながら、「都市の再構築によるコンパクトなまちづくり」を推進することにより、市域のどこに住んでいても利便性や生活の質の向上が実感できるまちを目指します。

都市・交通分野に関連するSDGsゴール



① 公共交通の利便性向上と住環境の整備が求められています。

市民の公共交通利用率

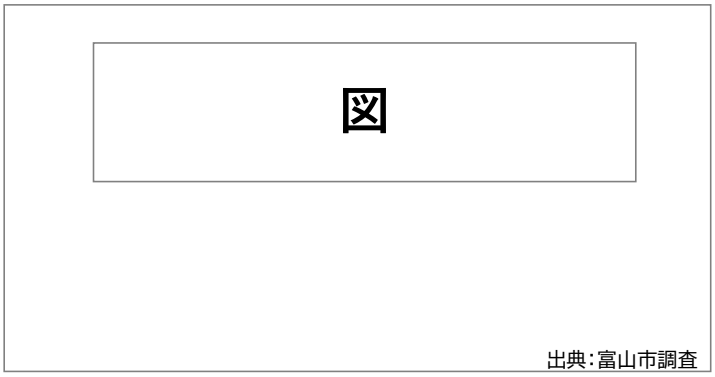


出典:富山市調査

市民の公共交通利用率は全体で2割弱であり、公共交通が便利な圏域では4割となっています。今後、空き家・空き地が増加し、都市の魅力や賑わいの低下が懸念されるため、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現に向けた継続的な取組が必要です。

② 都市の再構築による魅力ある都市空間の形成が求められています。

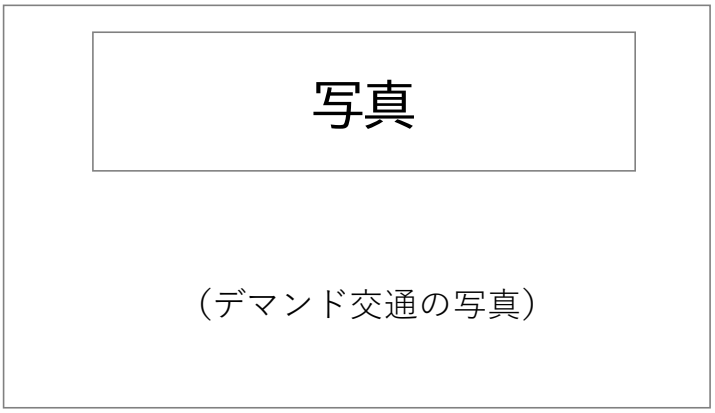
都心地区における平面駐車場の分布の変化



出典:富山市調査

都市の集約化や富山駅周辺の南北一体のまちづくりが進展する一方で、空き店舗や空きビルの増加による都市の魅力低下などが課題となっています。地域の特色や資源を生かした、持続可能な拠点の形成が求められています。

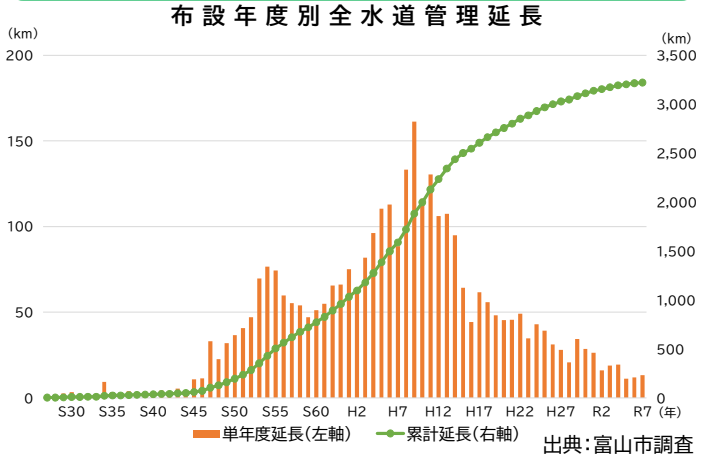
③ 郊外の暮らしを支える持続可能で実効性のある取組が求められています。



郊外部における公共交通の持続可能性の低下が懸念される中、デジタル技術の活用により、市域のどこに住んでいても市民一人ひとりが利便性や生活の質の向上を実感できる環境の整備が求められています。

④ 社会インフラの老朽化対策と計画的な維持管理が急務となっています。

布設年度別全水道管理延長



出典:富山市調査

道路、橋梁、河川、公園、上下水道の老朽化が進行し、安全性や機能の維持に課題があります。増加するメンテナンス費用や災害リスクに対応するため、社会インフラの効率的な管理と強靭化が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

公共交通が便利な圏域に住む市民の割合
- 現状: 40.4%（令和7年度）
- 目標: 4割以上（令和27年度）

富山市調査

中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量（日曜日）
- 現状: 64,094人（令和7年度）
- 目標: 66,360人（令和13年度）

富山市調査

公共交通空白地域に住む市民の割合
- 基準: 1.6%（令和7年度）
- 目標: 1.6%以下（令和13年度）

富山市調査

水道施設における基幹管路の耐震化率
- 基準: 46.0%（令和7年度）
- 目標: 56.8%（令和13年度）

富山市調査

政策 1

便利で使いやすい公共交通等の充実

市民の快適な移動や暮らしを支える多様な施策を推進します。

施策 1 持続可能な交通体系の実現

- 鉄軌道や主要なバス路線等において、活性化事業の継続と担い手確保を推進するとともに、沿線まちづくりや再構築事業等に取組み、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指します。
- 持続可能な交通体系を実現するため、市民・交通事業者との協働や県及び沿線自治体と連携を図ります。

施策 2 公共交通利用の啓発

- 公共交通に関する情報発信、年代や地域特性に応じた利用啓発、公共交通沿線企業への働きかけなど、モビリティ・マネジメントの推進により、公共交通利用への自発的な転換や公共交通の更なる利用促進を目指します。
- 将来を担う子どもたちを対象に、公共交通の役割や必要性を学ぶ教育を実施するとともに、公共交通を利用する体験や機会の継続的な提供により、日常的に公共交通を利用するライフスタイルの創出を目指します。

施策 3 歩くライフスタイルの推進

- 公共交通の充実に併せ、歩きたくなる環境を形成することで、市民の歩いて暮らすライフスタイルへの転換を促します。
- とほ活アプリを活用した歩くきっかけづくりやスマートウェルネス推進事業などとの連携、官民連携による「とほ活」の普及啓発などを実施し、市民の健康意識の向上を図ります。

施策 4 公共交通沿線居住の推進

- 公共交通沿線での中古住宅の取得や、それに併せてリフォームや建替えを行う市民を支援し、居住人口の増加に努めます。
- 旧耐震建築物や空き家等を除却し、良質な住宅の建設や宅地開発等を行う事業者を支援することで、既成市街地の再構築を目指します。

施策 5 都市部や地域の骨格を形成する道路網の整備

- 地域間の連携や公共交通へのアクセス向上を図るため、都市計画道路や幹線市道を整備し、道路ネットワークの強化を図ります。
- 道路整備に併せてウォーカブルな空間を形成し、地域内の安全で円滑な移動の確保を目指します。

主な関連計画
- 富山市都市マスタープラン
- 富山市総合交通計画
- 中心市街地活性化基本計画
- 住生活基本計画

政策 2 賑わいと暮らしを支える都市拠点の形成

市民生活や豊かな都市活動を支える都市空間を形成します。

施策 1 都市の再構築による拠点の形成

- 都心地区では、都市機能の更新を図る市街地再開発事業などを促進し、活性化や賑わいの創出、安全な都市空間の形成を目指します。
- 活力と魅力ある各地域の拠点の形成を図るため、市民主体のまちづくりの促進、南富山駅をはじめとする拠点の整備や必要な都市機能の誘導を推進します。

施策 2 富山駅周辺の南北一体的なまちづくりの推進

- 富山駅周辺の施設整備を進め、産学官民の連携により県都の玄関口にふさわしい活力と賑わいのある都市空間の創出を図ります。
- 南北一体的なまちづくりを支える都市計画道路等を整備し、交通結節機能の強化や利便性、アクセス性の向上を図ります。

施策 3 まちの魅力を高める都市景観の形成

- 郷土の景観を守り育み、魅力ある新たな景観を創出するため、市民・事業者との協働による景観まちづくりを推進し、表情豊かで魅力的な街並みの形成を図ります。
- 屋外広告物の適正化を継続的に推進し、魅力ある都市景観の形成を図ります。

施策 4 中心市街地の賑わい再生

- 中心市街地への来街者増加を図るため、公共交通利用の促進や官民連携による公共空間の活用を進め、継続的な賑わい創出や魅力ある都市空間の形成を図ります。
- 魅力的で利便性の高い中心商業地区を形成するため、空き店舗や空きビルの新たな利用促進を図ります。

施策 5 まちなか居住の推進

- まちなか（都心地区）での中古住宅の取得や、中古住宅の取得に併せてリフォーム・建替え等を行う市民へ重点的に支援し、居住人口の増加に努めます。
- 旧耐震建築物や空き家等を除却し、良質な住宅の建設等を行う事業者への支援を実施することで、既成市街地の再構築を目指します。

主な関連計画

- 富山市都市マスタープラン
- 富山市立地適正化計画
- 富山市景観まちづくり計画
- 中心市街地活性化基本計画
- 住生活基本計画

政策3 市域のどこに住んでいても多様な暮らし方ができる都市の実現

郊外や中山間地域でも不便を感じることなく暮らせる、多様なライフスタイルを実現します。

施策1 コンパクトシティ政策を補完するデジタル技術の活用

- 産学官民の共創により、地域の課題や市民の困りごとを解決する新たなスマートシティ関連サービスを創出し、市民一人ひとりが生活の質や利便性の向上を実感できる環境を整備します。
【関連施策】行政・パートナーシップ　政策2－施策3
- 各種IoTセンサーからリアルタイムの情報を収集し、防災情報や地域情報の共有による、市民サービスの向上を図ります。
- 高齢者等にスマートフォン活用支援を実施し、行政手続や買物などの日常生活において、誰一人取り残されない社会の構築を目指します。
【関連施策】地域コミュニティ　政策2－施策1

施策2 地域のニーズに合った最適な移動手段の確保

- 地域や路線の特性に応じて、路線定期運行や事前予約式の区域運行（デマンド交通）等、運行形態を適切に使い分けるとともに、AI等の新たな技術を活用し、生活交通の最適化を図ります。
- 地域団体等が主体となる地域自主運行や行政による運行、交通事業者による運行（乗合タクシー）等、地域の実情に応じた多様な事業形態を導入し、市民や交通事業者との協働による移動手段の確保を進めます。

施策3 市民生活を支える道路の整備

- 市民が快適かつ安全に通行できるよう、幅員の狭い生活道路のうち、危険度や緊急性の高い路線を改善し、地域住民が交流しやすい生活環境を確保します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市スマートシティ推進ビジョン
- 富山市総合交通計画

政策 4 安全・安心を守る社会インフラのマネジメント

持続可能で効率的なインフラマネジメントを進めます。

施策 1 安全で快適な道路空間の確保

- 緊急輸送道路やバス路線などの重要度の高い道路は計画的な補修を実施し、健全な道路空間を維持します。
- 歩道や側溝のリフレッシュ事業、街路樹の管理などを実施し、全ての市民が安心して通行できる快適な歩行者空間を確保します。

施策 2 橋梁等のメリハリのある老朽化対策

- 橋梁をはじめとする道路施設の持続可能なマネジメントの実現に向けた取組を積極的に推進することで、施設の機能維持や向上を図ります。
- 優先度に応じたメリハリのある効率的な修繕・更新を実施し、強靭で安全・安心な道路環境の確保を目指します。

施策 3 河川水路の長寿命化・老朽化対策の推進

- 老朽化した河川や火防水路等を効率的に修繕・更新し、施設の長寿命化やコスト削減、安全性の確保を図ります。

施策 4 安全・安心な公園施設の保全管理

- 経年劣化の進んだ公園施設の改修・更新を実施し、市民が安心して公園を利用できる環境を維持します。
- 公園施設の適切な維持管理により、施設の長寿命化やコスト削減を図ります。

施策 5 強靭で持続可能な上下水道システムの構築

- 安全・安心でおいしい水の安定的な供給や快適な生活環境を維持するとともに、災害に強く信頼性の高い上下水道システム構築を目指します。

主な関連計画

- 舗装個別施設計画
- 富山市橋梁マネジメント修繕計画
- 富山市公園施設長寿命化計画
- 富山市下水道ストックマネジメント計画
- 富山市上下水道耐震化計画
- 富山市上下水道事業中長期ビジョン

分野
09

防災・防犯

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

地域の防災力を高めるとともに、市民の防災意識の向上を推進します。また、ICTを活用した防災体制の強化等、災害に備えた取組を実施し、安全・安心に暮らせる地域づくりを進めます。

- 富山市は、自主防災組織や消防団、地域における防災活動、消防・救急体制、道路・河川等の社会インフラ整備を通じて、市民の安全・安心を支える基盤を築いてきました。
- しかし、交通事故の増加や頻発する有害鳥獣被害など、対応が必要な様々な課題も重なり、防災・防犯体制の充実が求められています。
- 今後は、地域の自主防災組織や消防団の強化と人材育成を一層進めるとともに、ICTを活用して、災害情報の伝達をよりスムーズにしていきます。また、防災インフラの長寿命化と機能向上を図り、土砂災害や浸水被害の軽減に努めます。さらに、交通安全指導や除雪体制を強化し、高齢者や子どもにやさしい環境づくりを進め、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

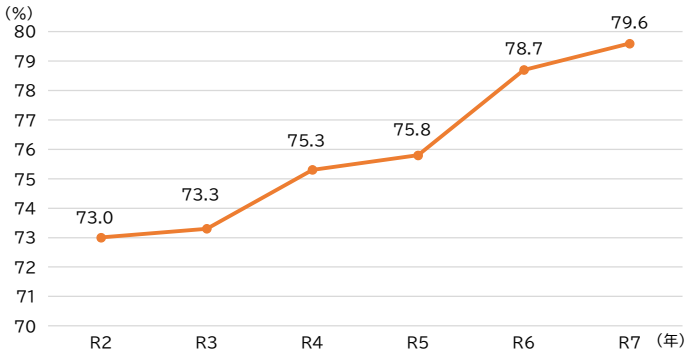
防災・防犯分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 市民の防災意識向上と災害リスクの的確な周知が求められています。

自主防災組織の組織率

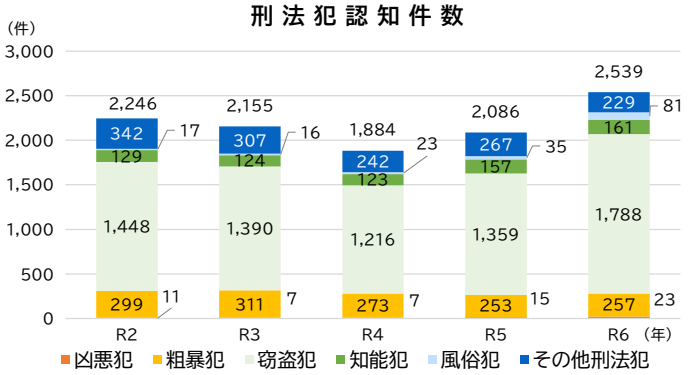


出典:富山市調査

自助・共助の強化とハザードマップによる周知啓発を進めていますが、市民一人ひとりの防災意識の向上に課題があり、継続的な訓練への参加や過去の災害を教訓とした防災体制の充実が求められています。

② 地域で助け合いながら、安心して暮らせる社会の実現が求められています。

刑法犯認知件数

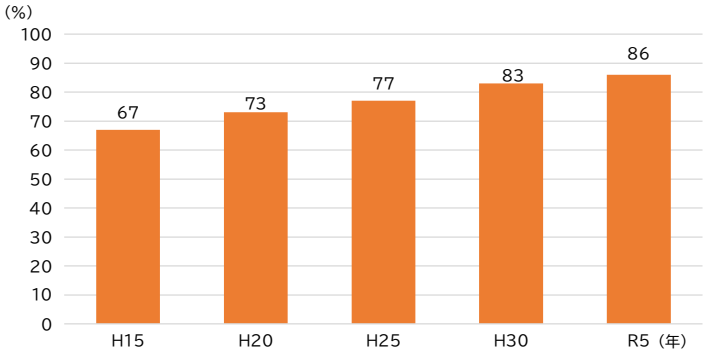


出典:富山県警察本部「富山県の犯罪情勢」

通学路等における危険箇所への安全対策や、除雪における人手不足等の課題があります。また、刑法犯や有害鳥獣による被害も増加傾向にあり、地域ぐるみの防犯活動が求められています。

③ 防災インフラの整備や建築物の耐震化など、多面的な対策が求められています。

住宅の耐震化率

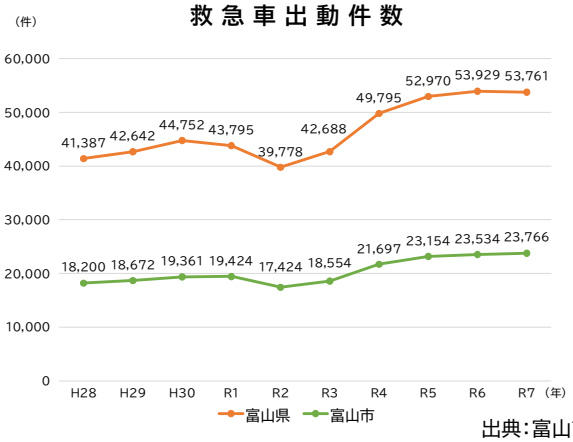


出典:富山市調査

地震や水害等の自然災害リスクが増大しており、被害を軽減する社会インフラの整備や住宅の耐震化等が求められています。また、災害発生時の迅速かつ的確な情報伝達や避難誘導等、災害に備えた体制づくりも必要です。

④ 消防・救急体制の充実強化や応急手当の普及が求められています。

救急車出動件数



出典:富山市調査

老朽化した消防拠点・車両・指令システム等の更新と、火災予防や救急分野で高度な知識を持つ人材の育成が求められています。加えて、市民の防火意識の向上や市民が応急手当の技術を身につけることも必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

備蓄物資の整備率

基準 55.1%（令和7年度）

目標 100%（令和13年度）

富山県調査

防犯カメラ設置数

基準 318箇所（令和7年度）

目標 438箇所（令和13年度）

富山市調査

浸水被害を軽減した区域の面積

現状 21.73ha（令和7年度）

目標 52.78ha（令和13年度）

富山市調査

救急出動時の救急救命士2名以上搭乗率

基準 77%（令和7年度）

目標 87%（令和13年度）

富山市調査

政策 1 地域の防災力向上の促進

市民一人ひとりの防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

施策 1 自助、共助の強化

- 地域の防災講座の開催や防災士養成研修への支援を実施し、地域防災力の要となる自主防災組織の結成や人材育成を促進するとともに、市民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

【関連施策】地域コミュニティ　政策２－施策２

- 自主防災組織が行う防災資機材の整備や防災訓練への支援を実施し、防災力の向上を図ります。

施策 2 災害対応力の強化と公助の充実

- 激甚・頻発化する自然災害への対策として、防災資機材の整備や備蓄物資の確保を進め、避難所の生活環境の改善に努めます。
- 避難所として使用する体育館において、空調設備の整備を進め、防災機能の強化を図ります。

施策 3 災害リスクの見える化

- ハザードマップの配布や出前講座の開催を通じ、災害リスクの周知啓発や河川水位情報等の防災情報を提供することにより、自助・共助による被害軽減対策の促進を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市地域防災計画
- 富山市浸水対策基本計画

政策 2 犯罪や事故を防ぐ安全・安心な暮らしの確保

市民一人ひとりが自らの安全・安心な暮らしを守るため、地域での取組を進めます。

施策 1 安全で安心して暮らせる地域社会の実現

- 町内会等による防犯カメラ設置への支援や、自転車利用者へのカギかけキャンペーンなど、犯罪の未然防止に向けた環境づくりを推進します。
- 地域の防犯体制の強化に向け、自主防犯組織の活動支援や研修会の実施などにより、地域の実情に応じた担い手の確保と育成を図ります。

【関連施策】地域コミュニティ　政策２－施策２

- 消費者トラブルや特殊詐欺被害の未然防止と迅速かつ的確な対応のため、積極的な情報提供や啓発活動を推進するとともに、相談体制の充実を図ります。

施策 2 人と車が共生できる安全で安心な交通社会の実現

- 市民が快適かつ安全に通行できるよう、歩行者空間が整備されていない道路や円滑な交通に支障がある箇所では、緊急度の高い路線から整備を進めます。
- 危険箇所における防護柵や道路反射鏡等の設置を進め、安全で安心できる快適な道路交通を確保します。
- 市民一人ひとりの交通安全技能の習得と、生涯にわたる交通安全意識の醸成を図るため、年代に適した交通安全指導等を実施します。

施策 3 地域ぐるみの除排雪活動の支援

- 除排雪機械の貸出しや購入補助制度などにより、町内会等の地域ぐるみで行う除排雪活動を支援し、市民と行政が協働して積雪時の生活道路における安全な通行環境を確保します。

施策 4 有害鳥獣による人身被害の防止

- クマなどの有害鳥獣を地域に寄せ付けない活動への支援や、クマ出没時における現地の正確な状況把握、住民への迅速な注意喚起に取り組むことで、人身被害の防止に努めます。

主な関連計画
- 富山市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画
- 富山市交通安全推進計画、富山市交通安全実施計画
- 富山市鳥獣被害防止計画

政策 3 災害に強いまちづくりの推進

包括的な施策展開による防災・減災対策、都市全体の強靭化を図ります。

施策 1 防災インフラの整備と長寿命化の推進

- 災害時の交通ネットワークを確保するため、重要な路線である緊急輸送道路の無電柱化を推進します。
- 地域住民の生命、財産を守るため、沿岸部では海岸保全施設の整備及び機能保全を図り、市街地では河川や排水路などの整備を推進します。
- 土砂災害の危険性がある区域では、急傾斜地崩壊防止施設等の整備を推進し、被害の軽減を図ります。
- 消雪装置の新設や更新などにより、積雪時の市道における交通渋滞の解消を図ります。

施策 2 ICTを活用した安全・安心なまちづくり

- 各種IoTセンサー等のデジタル技術を活用することで、雨量や河川水位などのリアルタイム情報を市民へ積極的に発信し、安全・安心な社会の実現を目指します。

施策 3 住宅の地震に対する安全性の向上

- 地震時の住宅の安全性を確保するため、一戸建て木造住宅の耐震改修に対する支援を実施します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画

- 海岸保全施設整備事業計画、海岸保全施設長寿命化計画
- 富山市無電柱化推進計画
- 富山市浸水対策基本計画
- 富山市耐震改修促進計画
- 富山市住生活基本計画

政策 4

消防・救急体制の整備

災害や事故から市民の生命と財産を守るため、消防・救急体制を強化します。

施策 1

地域における消防拠点の整備と機能強化

- 旧耐震基準で建設された常備消防拠点の改築、老朽化した施設・設備の更新整備を図り、防災拠点としての機能を強化します。
- 老朽化した消防分団器具置場の計画的な改築により、地域防災拠点機能の充実を図るとともに、地域に密着した持続可能で魅力ある消防団づくりを推進します。

施策 2

多様な災害や事故への対応能力の強化

- 様々な災害に対応するため、消防車両及び資機材の更新整備を行い、消防活動の安全性や効率性を確保します。
- 災害や事故に迅速かつ的確に対応するため、消防総合情報管理システムや消防救急デジタル無線の更新整備を進めます。

施策 3

市民の防火意識の高揚

- 出火原因を踏まえた防火講習会の実施などにより、市民の一人ひとりが防火を意識した行動を日常的に実践できるよう、防火意識の高揚を図ります。

施策 4

救命体制の充実強化

- 市民による応急手当の実施率向上を図るため、救命講習の実施や講習に必要な資器材の計画的な更新整備を進め、応急手当の普及啓発に取り組みます。
- 救急救命士の計画的な養成を進め、高度な救急活動を安定的に実施できる体制を構築します。

取組の写真、イラストなど

分野10 産業・雇用

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

企業誘致や創業支援、人材確保の取組を強化し、産業の成長と多様な人材が活躍できる雇用環境の実現を目指します。

- 富山市は、製造業をはじめとする産業集積、交通・物流の利便性、大学等との連携、創業・共創を支える環境などを背景に、地域産業の成長を支える基盤を形成してきました。
- 一方、近年は物価高騰や世界情勢の影響などにより、先行きが不透明な状況であり、企業の将来の景況判断には慎重な姿勢が見受けられます。また、若年層の転出や就業ニーズとのミスマッチなどにより人材確保が難しくなっていることや、新規創業の伸び悩みが課題となっています。
- 今後は、成長分野を意識した企業誘致や産業基盤の高度化を進めるとともに、創業支援や共創の取組を強化し、新たな産業の創出を目指します。また、若者とのマッチング機会の拡充や多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、人材の定着と地域経済の活性化につなげます。

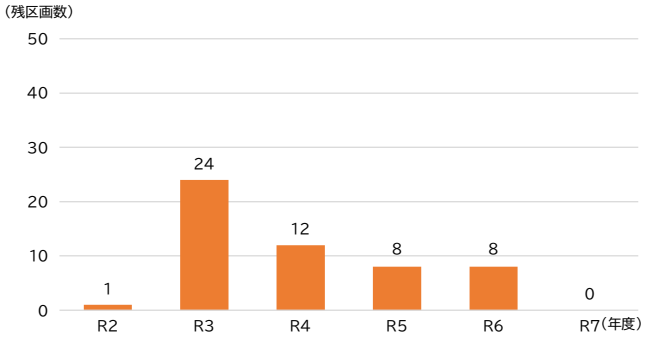
産業・雇用分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 企業誘致と産業基盤の強化が求められています。

企業団地の残区画数の推移

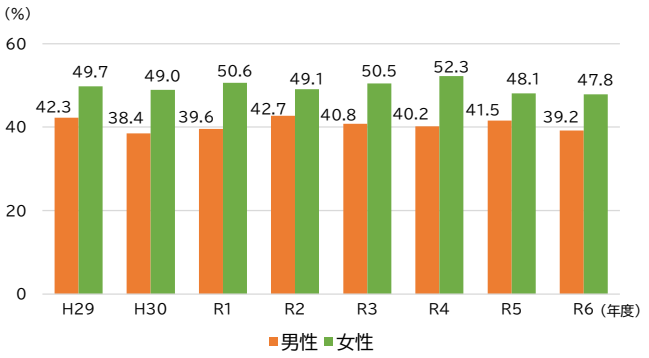


出典：富山市調査

若年層に選ばれる情報通信業や製造業の誘致が求められています。また、企業団地の完売により立地の受け皿不足が課題となっています。

② 若者の地元就業促進と人材確保が求められています。

県内大学卒業生の県内就職率

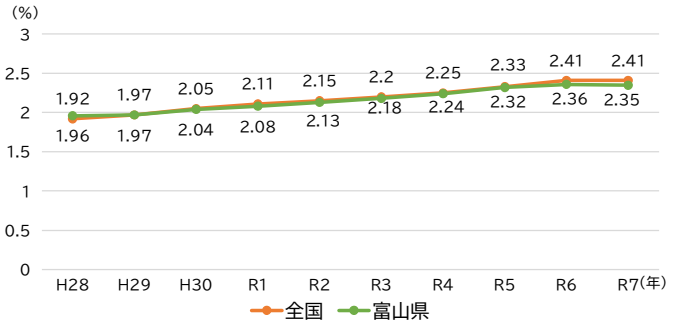


出典：富山県提供資料

求職者優位な売り手市場の状況が続き、中小企業等が学生と出会う機会が減少しています。卒業後に県外へ就職する学生も多く、人材流出が課題となっています。若者の地元就業と、企業とのマッチング強化が求められています。

③ 多様な人材が、安心して働ける環境整備が求められています。

障害者雇用率

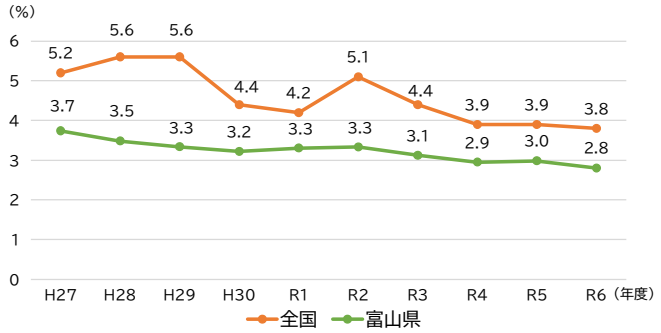


出典：富山市調査

有効求人倍率が高水準で推移する一方で、障害者雇用率の伸び悩みや、ひとり親の正規雇用率の低さ、女性が働きやすい環境整備の遅れ、若者の奨学金返済の負担など、多様な人材の就業や定着には多くの課題があります。誰もが安心して働き続けられる安定した雇用環境の整備が求められています。

④ 起業創業や新たな産業創出に向けた支援が求められています。

富山県内の開業率の推移



出典：厚生労働省「雇用保険事業年報」

本県の企業等のうち、新規開業した企業等の割合を示す開業率は、全国平均を下回っており低下傾向にあります。新規創業や新事業展開に取り組む事業者の挑戦を後押しする支援の充実が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

富山市の製造業の全事業所における粗付加価値額

基準 6,275億円（令和7年度）

目標 6,400億円（令和13年度）

経済構造実態調査

県内大学卒業生の県内就職率

基準 47.30%（令和7年度卒業者）

目標 50.00%（令和12年度卒業者）

富山県調査

市の支援事業により雇用につながった者の数

基準 342人（令和3～7年度平均）

目標 355人（令和13年度）

富山市調査

富山県内の開業率

基準 2.8%（令和6年）

目標 3.0%（令和12年）

厚生労働省「雇用保険事業年報」

政策 1 地域産業の成長と産業基盤の強化

企業誘致や成長支援、ＤＸ・ＧＸの推進などを通じて、地域産業の競争力強化と産業基盤の充実を図ります。

施策 1 戦略的な企業誘致と産業基盤の強化

- 将来の成長が期待され、若者にとって魅力的な情報通信業や製造業の企業誘致を推進し、地域産業の成長を促します。
- 企業立地助成制度や設備投資支援の活用により、市外からの企業進出を後押しします。
- マッチングサイトの充実により、空き工場・用地の紹介を強化しつつ、新たな企業団地の造成について検討を進めます。

施策 2 企業の成長支援と販路開拓の促進

- 企業立地助成制度や設備投資支援の活用により、市内企業の事業拡大を支援し、競争力強化と付加価値の向上を後押しします。
- ベンチャー企業等の見本市への出展支援やＰＲ支援により、新商品や新技術の販路開拓を促進し、企業の成長と新分野進出につなげます。
- 関係機関との連携により、事業の承継を促進し、地域産業や技術の継承と持続的な発展につなげます。

施策 3 ＤＸ・ＧＸによる地域産業の持続可能性向上

- 中小企業のＤＸ推進に向けて、商工業団体等との連携により、デジタル人材の育成やデジタル技術の導入に向けた取組を推進することで、生産性の向上や人手不足の解消を後押しし、企業の競争力強化につなげます。
- ＧＸの推進に向け、脱炭素や省エネルギーに資する技術導入を支援し、持続可能な産業構造への転換を促進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市工業振興ビジョン
- 富山市創業支援等事業計画

政策 2 未来を支える人材の育成と地域定着

若者や働く世代の学びと就業を支援し、地域産業を支える人材の育成と定着を目指します。

施策 1 若者の就業促進と地域人材の確保

- 求職者優位な売り手市場の状況に対し、関係機関との連携により、企業情報の発信やイベント周知を強化することで、企業認知度を向上させるとともに、高校生や大学生等との接点を確保し市内企業への就職選択につなげます。
- 富山広域連携中枢都市圏の市町村と連携し、合同企業説明会を開催して学生と市内企業のマッチング機会を創出します。
- 教育機関との連携により、県内外の大学と連携したＵＩＪターン就職意識醸成イベント等を実施し、富山で働く魅力や市内企業の認知度向上を図ります。

施策 2 産業人材の育成とキャリア形成支援

- 職業能力の向上に向けた実務講座や研修機会の充実により、地域産業を支える人材の育成と企業の人材教育を支援します。
- デジタル分野を含む社会のニーズに対応した講座の充実を図り、働く人や求職者のスキルアップとキャリア形成を促進します。
- 社会人へ学びの機会を提供することで、多様な世代の職業能力向上を後押しします。

【関連施策】教育　政策４－施策１

取組の写真、イラストなど

政策 3

多様な人材が活躍できる環境づくり

誰もが希望に応じて安心して働き続けられる、多様な就業環境づくりを促進します。

施策 1 多様な人材の活躍促進と就業環境の整備

- 多様な人材の受入れに向けた企業の意識醸成と環境整備を進め、求職者と企業のミスマッチ解消と、安定した雇用環境の形成につなげます。
- 奨学金の返還における負担軽減に向けた取組を進め、若年層の経済的不安の軽減と職場定着の促進を図ります。
- 障害者やひとり親など多様な人材の就業機会の拡大に向け、企業への働きかけや支援制度の活用により、安定した雇用の確保を図ります。
- 女性が働きやすい職場環境の整備を促進し、就業継続と就業意欲の向上につなげます。
- シルバー人材センターと連携し、高齢者の就労機会を拡大します。
- テレワークやフレックスタイム等の柔軟な働き方を普及促進し、多様なライフスタイルに応じた就業環境づくりを進めます。

施策 2 外国人材の受入環境づくりと職場定着の支援

- 育成就労制度など外国人材の受入れに関する制度や支援策について、企業への情報提供や周知啓発を行い、適正な雇用管理と受入環境の整備を促進します。
- 外国人材が安心して働き暮らせるよう、関係機関と連携し、生活情報や就労に関する相談・情報提供体制の充実を図ります。
- 企業や地域における多文化への理解を促進し、外国人材の職場定着と地域での活躍につなげます。

取組の写真、イラストなど

政策 4

富山で働き挑戦できる環境づくり

創業や地元就職、UIJターン、移住・定住を後押しし、富山で働き、挑戦し、活躍できる環境づくりを進めます。

施策 1 創業と共創による新たなビジネスの創出

- 創業支援施設の運営や経営・技術相談により、創業者や中小企業の新たな取組を後押しし、事業化の実現を支援します。
- 創業初期における費用の一部助成により、創業のハードルを下げ、多様な主体による新規創業を促進します。
- Sketch Labにおける共創プログラムの展開とコミュニティの形成により、多様な主体の連携を促し、新たなビジネスの創出につなげます。

施策 2 移住・定住による地域人材の確保

- 富山で働く魅力を移住検討者や若い世代に発信し、地域産業を支える人材の確保につなげます。
- 移住相談や情報発信、移住後の伴走支援により、富山市への移住と地域での就業を促進します。
- 介護、保育、農業、交通など、人材不足が課題の分野に対して移住促進の取組を展開し、地域を支える担い手の確保を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市工業振興ビジョン
- 富山市創業支援等事業計画

分野
11

観光・交流

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

観光資源の魅力を体験と消費につなげ、広域周遊と交流の創出を推進します。

- ニューヨーク・タイムズ紙の「２０２５年に行くべき５２か所」に選定された効果もあり、富山市は旅行先の一つとして国内外から注目を集め、観光客数はコロナ禍から回復傾向にあります。
- 一方、滞在日数の延伸や観光消費の拡大には十分につながっておらず、広域周遊の動線や情報発信、受入体制の面でも課題があります。また、来訪者の増加を、継続的な再訪や地域との関係づくりにつなげる取組が求められています。
- 今後、観光資源の認知にとどまらず、体験、滞在、消費につなげる取組を進めるとともに、まちなかを拠点とした山間部や海沿いエリアを含む広域的な観光動線の形成や、公共交通を活用した周遊環境の充実を図ります。また、ガラスやくすり、食など富山市独自の魅力発信を強化するとともに、多様な交流機会の創出により、交流人口や関係人口の拡大につなげます。

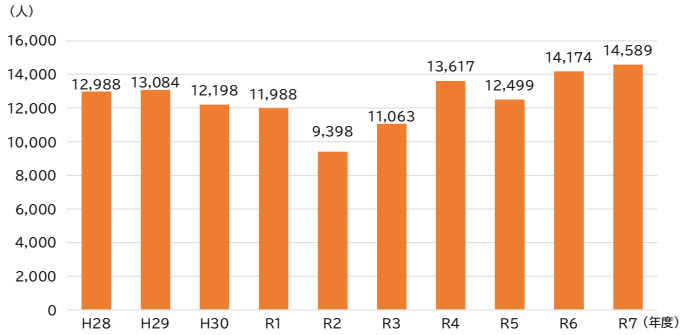
観光・交流分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 広域連携による滞在型観光の拡大が求められています。

ガラス工房体験プログラム参加者数の推移



出典：富山市調査

公共交通を活用した市内周遊は一定程度定着しているものの、日帰り観光の割合が高く、滞在日数の伸びにつながっていません。まちなかと山・海、さらには周辺地域を組み合わせた広域的な観光動線の形成が求められています。

② 地域資源を生かした体験型観光の充実が求められています。

市内宿泊施設における延べ宿泊者数

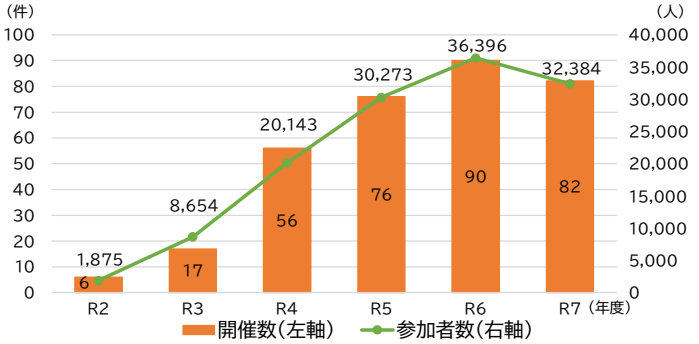


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

ガラスやくすりなど富山市独自の資源は一定の認知はされているものの、観光消費や体験機会の広がり、市民への浸透にはなお課題があります。資源の磨き上げと発信の強化が求められています。

③ 交流人口の拡大に向けたコンベンション等の誘致強化が求められています。

コンベンション等開催数及び参加者数



出典：富山市調査

コンベンションの開催件数や参加者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には至っていません。大規模会議に対応できる施設や宿泊受入先、観光コンテンツのほか、開催に対する支援制度等の情報を広く発信していくことが求められています。

④ 継続的な来訪につながる交流機会の充実が求められています。



人口減少が進む中、来訪者の拡大に加え、地域と継続的に関わる関係人口の創出が重要となっています。多様な交流機会の創出により、再訪の促進や地域とのつながりの拡大を図る必要があります。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

(仮称)とやまくすりミュージアム来訪者による経済効果

基準 新規

目標 1,005,939千円（令和13年度）

富山市調査

本市を拠点とした市外・県外への広域観光者数

基準 995162人（令和7年度）

目標 1,110,000人（令和13年度）

富山市調査

コンベンション等開催、合宿実施数及び参加者数

基準 82件／32,384人（令和7年度）

目標 88件／32,700人（令和13年度）

富山市調査

観光客の再訪意向

基準 47.2%（令和7年度末時点）

目標 53.0%（令和13年度末時点）

富山県ウェブアンケートデータ

政策 1 魅力ある観光資源の創出と発信

富山独自の資源を生かし、多彩な魅力を創出・発信します。

施策 1 「薬都とやま」ブランドの確立

- （仮称）とやまくすりミュージアムを整備し、デジタル技術を活用した体験型施設として、「富山のくすり」の歴史・文化を魅力的に発信します。
  【関連施策】郷土愛　政策２－施策１
- 「富山やくぜん」認定店舗数及び認定品目数の増加と市民への認知度向上を図り、ＳＮＳ等を活用した情報発信とイベント開催により、地域ブランドの浸透を図ります。

施策 2 「富山の食」の魅力発信

- すしをはじめとする富山の食の魅力を発信し、富山の豊かな食文化の認知度向上を図ります。
- 富山市が有する豊かな食や物産について、首都圏などで開催される物産展・展示会への出展などによりＰＲを行い、販路拡大に貢献します。

施策 3 伝統文化・行事の新たな魅力の創出と継承支援

- 富山市を代表する伝統文化である「おわら風の盆」や「曳山祭り」などについて、担い手の育成や新たな魅力の創出・発信を図り、持続可能な伝統行事として継承していきます。
  【関連施策】文化・芸術　政策３－施策２

施策 4 「ガラスの街とやま」観光体験の充実

- 富山市ガラス工房でのガラス制作体験やガラス美術館での展覧会鑑賞など、多彩な観光プログラムを展開し、来訪者に「ガラスの街とやま」ならではのコンテンツを提供します。
- ガラス造形研究所での国内外の作家による公開講座や制作実演などの機会を生かし、学生や市民との交流を促進します。
- ガラス文化の発信や関連事業を通じて国内外からの来訪を促進し、「ガラスの街とやま」のブランド力向上を図ります。
  【関連施策】文化・芸術　政策２－施策４

主な関連計画
- くすり関連施設基本構想・基本計画
- ガラスの街づくりビジョン

政策 2

滞在型観光と広域周遊の推進

外国人観光客をはじめとする多様な来訪者の誘致と受入環境づくりを進め、市内の周遊と滞在を促進します。

施策 1 富山の魅力を生かした広域・滞在型観光の推進

- 複数日にわたり市内各地や県内広域を巡る滞在型観光を促進するため、市内電車の割引・無料利用券を配布し公共交通による周遊環境を整備します。
- まちなかを起点に、山間部や海沿いエリアを含むモデルコースを形成し、観光客に分かりやすく発信して滞在日数の延長を後押しします。
- 富山広域連携中枢都市圏の市町村と合同で観光物産プロモーションを展開し、圏域全体の滞在型観光連携を強化します。

施策 2 観光客の誘致と受入環境の充実

- 国外からの高付加価値旅行者をターゲットに、近隣自治体と連携して富山市の観光コンテンツや滞在モデルプランをＰＲするなど、積極的な誘客を図ります。
- 城址公園内での甲冑体験・乗馬体験など、外国人観光客に人気のある体験型コンテンツの充実を図ります。
- 観光案内所等での多言語による観光案内や相談対応、ガイドマップの充実により、来訪者が安心して市内を周遊できる受入環境の整備を進めます。

取組の写真、イラストなど

政策 3 多様な交流の場の創出

多様な交流機会を創出し、人と地域のつながりを深めます。

施策 1 コンベンション等の誘致の促進

- 国内外のコンベンションや合宿等の誘致に向け、県やコンベンションビューロー、宿泊・観光業者等と連携し、支援制度の周知や誘致活動を積極的に展開します。

施策 2 スポーツを通じた交流の推進

- まちなかのアリーナを核としたイベント開催などを通じて、地域の活性化・賑わい創出を図ります。
  【関連施策】スポーツ　政策４－施策２
- プロスポーツチームやアリーナ運営事業者と連携し、ファンの掘り起こしや、来場者が市内で食事や買物を楽しむための取組を推進します。
  【関連施策】スポーツ　政策２－施策１　政策４－施策２

施策 3 国際交流の推進

- 相互の訪問団派遣・受入れなどにより長く交流を深めてきた４つの「姉妹友好都市」（ブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市、中国の秦皇島市、アメリカのダーラム市、オーストラリアのダボ・リージョナル・カウンシル）と、観光や文化など新たな交流を視野に入れ、今後も友好な関係の構築に努めます。
- まちづくり・環境・文化など、特定の分野における国際交流協定による都市との交流を幅広く展開し、国際交流の推進につなげます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 第２次富山市スポーツプラン
- 富山市文化創造都市ビジョン

政策 4

再来訪の促進と関係人口の拡大

富山ならではの魅力と交流機会を生かし、再来訪や継続的な関わりを促進し、関係人口の拡大を図ります。

施策 1 再来訪につながる観光コンテンツの充実

- コンベンションの参加者を対象として会議の前後に行われるエクスカーションなどで、富山の歴史や文化に触れながら富山の魅力を感じる機会を創出し、再来訪を促します。
- 「薬都とやま」、「ガラスの街とやま」、「富山の食」、「おわら風の盆」などの地域資源を生かした観光コンテンツを充実させ、来訪者がまた来たいと感じる機会を広げます。

施策 2 継続的な来訪と二地域居住の促進

- 富山の自然・食・文化・スポーツなどの魅力を発信し、来訪者が継続的に富山と関わるきっかけづくりを進めます。
- 富山市での二地域居住や季節ごとの滞在など多様な関わり方を促進し、関係人口の拡大を図ります。
- 地域や事業者と連携し、来訪者が地域の活動や交流の場に参加しやすい環境づくりを進め、継続的な来訪や将来的な移住・定住につなげます。

施策 3 自然資源を生かした再来訪と交流の促進

- 富山湾、神通川、牛岳、立山山麓、呉羽丘陵など、富山市の多様な自然資源を生かし、季節や目的に応じて繰り返し訪れたくなる自然体験や交流機会の創出を図り、関係人口や交流人口の拡大につなげます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市シティプロモーション推進指針

分野12 農林水産

写真①

写真②

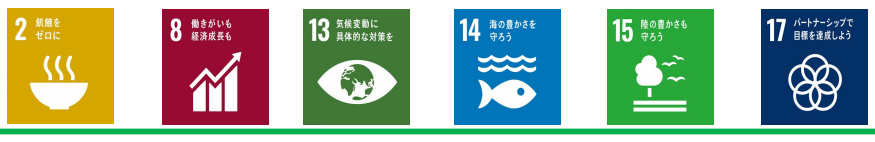
写真③

〔取組の方向性〕

生産性の向上と担い手の育成・確保、富山の豊かな自然が育む農林水産物の高付加価値化に取り組み、稼げる農林水産業の実現を目指します。

- 農林水産業は、田園地帯や中山間地域を含む地域経済の発展や自然環境の保全、良好な景観の形成など、多様な役割を担っています。
- 富山市は、気候風土と豊富な水資源に恵まれ、９５％を超える水田率を誇る米を中心に、野菜、果樹、花き、畜産といった地域の特性を生かした多様な農業が展開されています。また、「天然のいけす」と称される富山湾では、四季を通じて豊富な種類の魚介類が水揚げされ、富山の食文化を彩っています。
- しかし、人口減少や高齢化により、生産者や集落の担い手不足に直面しており、農山漁村の集落機能の低下などの厳しい課題があります。
- 今後は、地域ぐるみによる担い手の育成・確保、経営基盤の強化、先端テクノロジーを活用した省力化・効率化、プロモーション活動による販路拡大を図り、収益性の高い農林水産業を実現するとともに、産業としての魅力を向上させる取組を推進します。

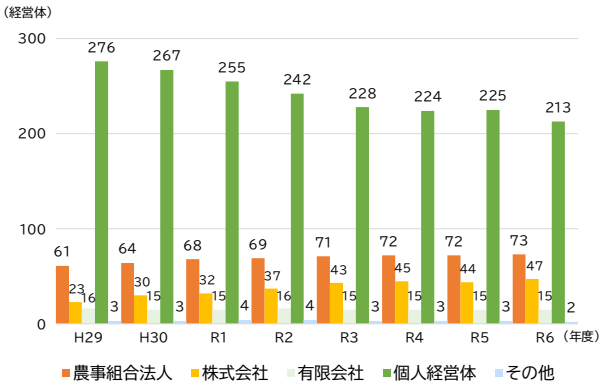
農林水産分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 農業の担い手の育成・確保や農地の集約・集積化の促進が求められています。

組織形態別認定農業者数

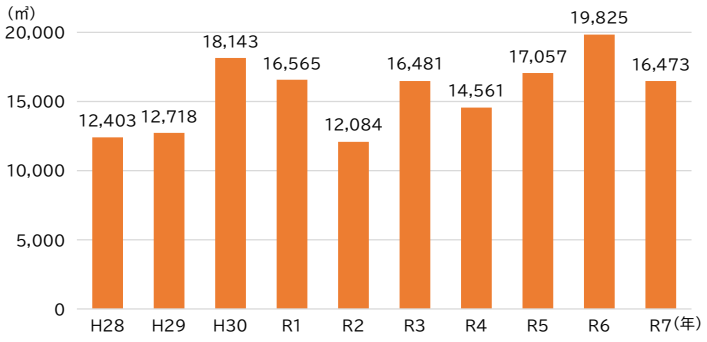


出典：富山市調査

農業者の高齢化や主食用米の需要減少などにより、担い手が減少しています。新規就農者の確保やスマート農業の推進により、担い手の経営基盤を強化し収益力を高める必要があります。

② 豊かな森林資源の循環利用や計画的な森林整備が求められています。

地域材生産量

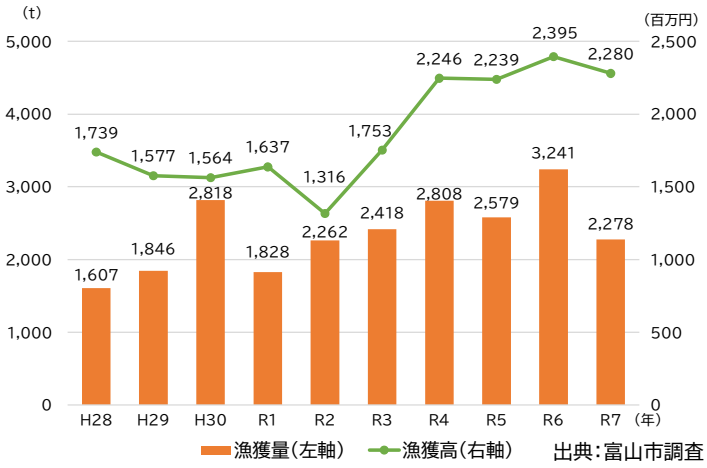


出典：富山市調査

市域の約７割を占める森林は、土砂流出防止や水源涵養、生態系保全などの重要な公益的機能を有しています。この資源を守るため、林業の生産・経営基盤を強化し、多様な主体による森づくりを進める必要があります。

③ 持続性のある漁業の振興が求められています。

漁獲量及び漁獲高（水橋、岩瀬、四方漁港の合計）

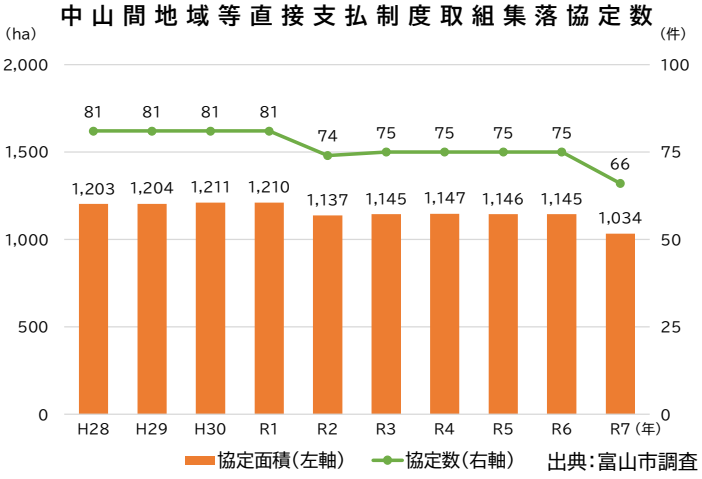


出典：富山市調査

主要魚種のホタルイカやシロエビなどのブランド力を更に高めるため、県内外での競争力強化と資源保全に努め、持続可能な漁業の発展を図る必要があります。

④ 都市住民との交流を通じた中山間地域の活性化が求められています。

中山間地域等直接支払制度取組集落協定数



出典：富山市調査

中山間地域では、担い手不足や耕作放棄地の増加が深刻化し、地域活力の低下が懸念されています。そのため、都市住民との連携・交流を促進し、地域の活性化を図る必要があります。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

認定農業者・認定新規就農者数及び法人数

基準 認定農業者・認定新規就農者数 399経営体 / 法人数 144法人（令和7年度）

目標 認定農業者・認定新規就農者数 概ね現状維持 / 法人数 156法人（令和13年度）

富山市調査

市の事業を活用して実施した間伐等の森林整備面積

基準 110.0ha（令和2年度から令和6年度までの平均）

目標 130.0ha（令和13年度）

富山市調査

漁業者数（とやま市漁協の正・准組合員数）

基準 160人（令和7年度）

目標 概ね現状維持（令和13年度）

富山市調査

棚田保全活動集落数

基準 83集落（令和7年度）

目標 概ね現状維持（令和13年度）

富山市調査

政策 1 持続可能な農業の推進

稼げる農業を推進し、地域農業の発展と食の安定供給を図ります。

施策 1 農業の担い手の育成・確保

- 担い手の法人化及び企業参入を促進し、経営基盤が安定した大規模な農業経営体の育成・確保を図ります。
- 地域農業の担い手を確保するため、若い農業者などの就農支援・育成や県外からの就農者の移住促進など、積極的な担い手の育成・確保施策を展開します。
- 地域の移住者・就農者の受入体制の整備を伴走支援し、地域主体の新規就農希望者の農業体験活動を支援します。

施策 2 スマート農業の推進と生産基盤の整備

- ＩＣＴやロボット技術等先端テクノロジーを活用するスマート農業に対応した基盤整備などを推進し、生産性向上を図ります。
- 大区画のほ場整備を促進するとともに、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を進め、農業の効率化を図ります。

施策 3 農林水産物の高付加価値化

- 富山の豊かな自然の中で育つ農林水産物のブランド力強化、６次産業化、Ｗｅｂ販売をはじめとした国内外への販路拡大、地産地消の促進を支援し、農林水産物の適正な価格形成と流通の合理化、高付加価値化を図ります。

施策 4 安全・安心な農林水産物の供給

- 人・自然にやさしい有機農業を推進し、生産性と持続性が両立した自然と調和する農業の実現を目指します。
  【関連施策】環境　政策１－施策１
- 食の流通を支える卸売市場を適正に運営し、市民生活の安定と向上を図るとともに、生産者の継続的で安定的な販売ルートを確保します。
- イノシシやカラス等の有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、侵入防止対策や捕獲対策のほか、放任果樹の除去等の環境管理を継続的に行います。

主な関連計画
- 富山市農業・農村振興計画
- 富山市鳥獣被害防止計画

政策 2 森づくりと林業振興の推進

林業生産の強化や多様な主体による森づくりを推進します。

施策 1 豊かな森林整備の推進

- 森林資源の循環利用を図るため、間伐や主伐後の再造林など健全な森林整備を推進し、森林の多面的機能の維持を図ります。
- 地元住民との協働により、里山林や竹林の整備に取り組みます。

施策 2 地域資源である市内産材の利用拡大

- 市内産材の住宅利用を活性化し、とやまの木の温もりある優良な家づくりを促進します。
- 未利用材について木質ペレットなど新たな資源利用を促進し、市内産材の消費拡大を目指します。

施策 3 林業の担い手の育成・確保と市民参加の森づくりの推進

- 林業従事者の雇用環境の改善を図り、林業の担い手の育成・確保につなげます。
- 森林ボランティアと連携し、市民参加による森づくりを推進します。

【関連施策】環境　政策１－施策１

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市農業・農村振興計画
- 富山市森づくりプラン

政策 3 水産業の振興

富山の魚介類のブランド力を高め、持続性のある水産業の振興を図ります。

施策 1 ブランド力の向上と情報発信強化

- とやまの魚介類を県内外にＰＲすることで、ブランド力を高め、漁業関係者の安定した経営を支援します。
- 漁業関係者や消費者との交流イベントを開催し、水産物の魅力発信と消費促進を図ります。

施策 2 持続可能な漁業の振興

- 漁港施設の機能を保全し、安全な漁業環境を維持します。
- 漁業の効率化のほか、ヒラメやクロダイ等の栽培漁業を支援し、持続性のある漁業の振興を目指します。

取組の写真、イラストなど

政策 4 中山間地域農業の活性化

豊かな自然を強みとした、中山間地域の活性化を図ります。

施策 1 中山間地域における資源の保全・整備と魅力ある空間づくり

- 地域が主体で行う棚田や農地、周辺環境の保全活動を支援し、水源涵養、洪水防止など多面的機能の維持と美しい景観の保全を図ります。
- 富山の豊かな自然を楽しむことができる森林公園や登山道などの自然体験空間の保全を図ります。

施策 2 地域資源を生かした農業・産業の育成

- スマート農業の活用や、集落営農の法人化・組織化、農村ＲＭＯ・地域運営組織の形成・活動を促進し、中山間地域における農業の担い手不足への対応を図ります。
- 棚田米、地場野菜、農産加工品など地域固有の産品の６次産業化・高付加価値化や、農業体験、農家レストランなど農山村の魅力を生かした地場産業の活性化を支援します。

施策 3 都市との交流による新たな価値の創出

- 地域おこし協力隊やテレワーカーなどの都市人材の受入環境を整備し、中山間地域に新たな活力をもたらします。
- Ｗｅｂ販売やふるさと納税の活用などにより中山間地域への理解と愛着を深めることで、新たな担い手の確保につなげます。

取組の写真、イラストなど

分野13 環境

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

豊かな自然環境の保全と持続可能な地域づくりを目指し、市民や事業者と連携して環境負荷の低減と資源循環を推進します。

- 富山市は、森林、里山、水辺や海辺など、豊かな自然環境を有するとともに、環境モデル都市、環境未来都市、ＳＤＧｓ未来都市として、環境と都市づくりを一体的に進める基盤を築いてきました。
- しかし、気候変動による影響の深刻化が課題となっています。そのため、市民一人ひとりの環境意識の向上や持続可能な行動の促進が一層求められています。
- 今後も、脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギーの普及拡大を進めます。自然環境や生活環境の保全、循環型社会の構築に注力するとともに、市民や事業者と連携し、環境活動や環境教育の充実を図り、誰もが安心して暮らせる自然環境を次世代に継承します。

環境分野に関連するSDGsゴール



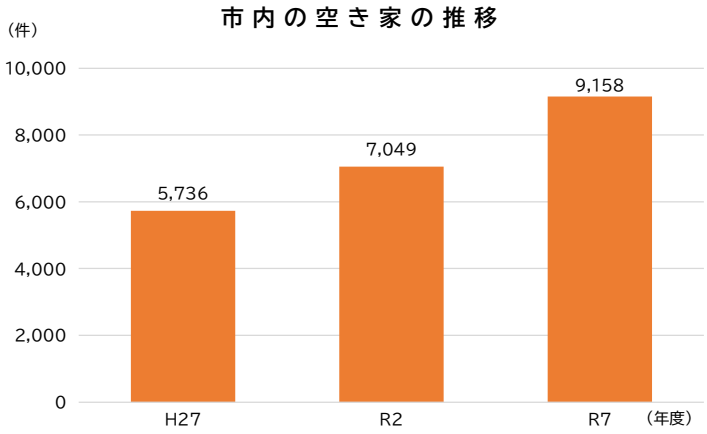
〔現状と課題〕

① 豊かな自然の保全が求められています。

環境保全活動の写真

富山市は、海岸から山間部までの広大で起伏に富んだ地形と豊かな自然環境を有しています。この財産を次世代に継承するため、保全活動や自然を身近に感じられるまちづくりの推進が求められています。

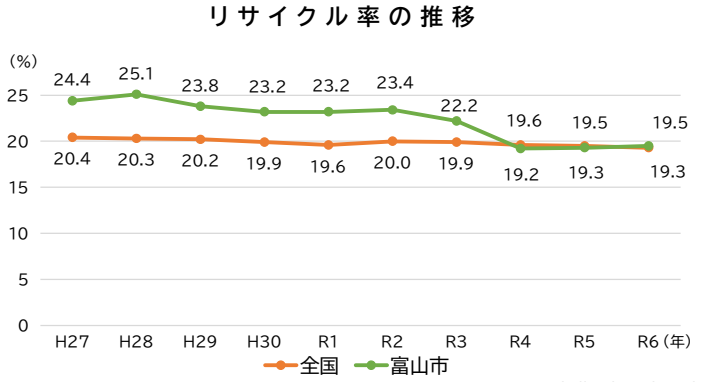
② 健康で快適な生活環境の保全が求められています。



出典:富山市調査

美しいまちを守り、良好な生活環境を将来に引き継ぐため、環境汚染の防止対策や人口減少などに伴う空き家・空き地の増加への対策が求められています。

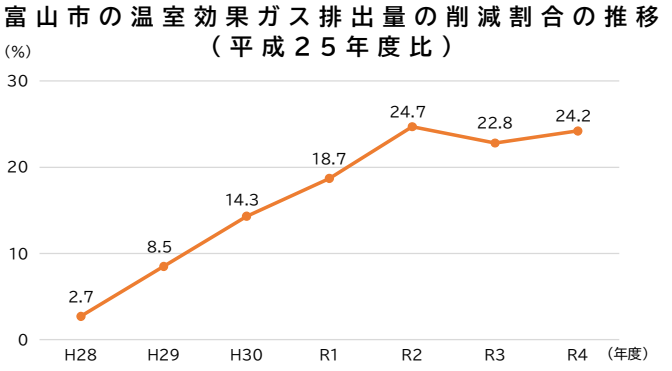
③ 資源循環を基調とした生活の豊かさと環境の保全の両立が求められています。



出典:富山市調査

大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動は、資源の枯渇と廃棄物の最終処分場の逼迫につながります。自然と共生し、持続可能な社会を目指すため、資源の効率的な利用や廃棄物の発生抑制、循環型のライフスタイルへの転換が求められています。

④ ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進が求められています。



出典:富山市調査

近年、自然災害の激甚化・頻発化など、地球温暖化による影響が深刻化しています。富山市は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しており、再生可能エネルギーの導入促進をはじめとした、地球温暖化対策の推進が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

市民1人あたりの身近な緑のオープンスペースの面積
基準 10.4m²/人 (令和7年度)
目標 10.9m²/人 (令和7年度)
富山市調査

市が関与・支援した空き家の解消件数
基準 77件 (令和7年度)
目標 105件 (令和13年度)
富山市調査

市民1人1日あたりの燃やすしかないごみ及び燃やせないごみの排出量
基準 507g/人日 (令和7年度)
目標 432g/人日 (令和13年度)
富山市調査

温室効果ガス排出量の削減割合(平成25年度比)
基準 24.2% (令和4年度)
目標 40.6% (令和10年度)
富山市調査

政策 1 豊かな自然と美しいまちの調和の推進

豊かな自然を次世代に継承するための取組を進めます。

施策 1 水と緑の保全・活用の推進

- 美しく四季折々の景観を形成する水源地域を含む水辺環境の保全・整備を推進します。
- 林業生産・経営基盤の強化を通じ、計画的な森林整備や市民参加による里山の整備・保全を推進します。
  【関連施策】農林水産　政策２－施策３
- 生物多様性を重視し、地域資源の循環を図る有機農業など環境にやさしい農業を推進します。
  【関連施策】農林水産　政策１－施策４

施策 2 豊かな自然空間の整備

- 自然と都市が調和した景観資源である松川公園の桜並木や河川・用水沿いの街路樹・遊歩道など、まちなかの貴重な四季の彩りを保全・活用し、自然と都市が調和した景観形成を進めます。
- まちなかに四季折々のフラワーハンギングバスケット（花かご）を設置するなど、花と緑の潤いを感じることができる歩行空間づくりを推進します。
- 地区公園・近隣公園など身近な公園の整備・維持管理を進め、市民が生活の中で自然に親しめる環境を確保します。
- 自然が豊かで優れた景観を楽しむことができる、森林公園の適正な維持管理を図ります。
- 水橋フィッシャリーナの利用促進をはじめ、釣りや散策など海辺の自然環境を生かした沿岸地域の活性化を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市農業・農村振興計画

政策 2 快適な生活環境づくり

身近な地域で生じる生活環境の問題に対応します。

施策 1 良好な生活環境の確保

- 工場・事業所等における排ガスや排水などの規制基準の達成状況を監視・指導し、公害の防止対策を図ります。
- カラスのふん害や鳴き声による騒音被害など、身近な生活環境の問題に対応し、市民が快適に暮らせる地域環境づくりを進めます。

施策 2 空き家・空き地対策の推進

- 民間事業者との連携による空き家情報バンクの運営や若年新婚世帯を対象とした中古住宅取得への支援などにより、空き家の流通促進を図ります。
- 空き家の除却や有効活用への助成、相談体制の充実など、空き家所有者自らによる対応への支援を行うとともに、空き家のリノベーションによる利活用を推進します。
- 放置された空き家は、倒壊の危険や住環境への悪影響、治安の悪化など、重大な問題を発生させる恐れがあることから、空き家所有者や市民に対する情報発信を図り、空き家対策への意識の向上を図ります。
- 空き地の適正な管理に向けた啓発を行うとともに、管理が不十分な空き地の所有者等への指導に努めます。

施策 3 将来の需要を見据えた斎場機能の充実

- 将来の火葬需要への対応に向け、老朽化した斎場の再整備や今後のあり方を検討し、利用者の利便性向上を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市空家等対策計画

政策 3 循環型社会の形成

ごみの排出抑制とリサイクルによる資源循環を推進します。

施策 1 環境にやさしいライフスタイルの推進

- ごみの発生抑制に取り組み、ごみをできるだけ出さないライフスタイルへの転換を図ります。
- 民間事業者と連携し、日常生活でリユース活動に取り組みやすい環境整備を推進します。
- プラスチックをはじめ、資源の分別回収や再資源化を促進し、包括的な資源循環に取り組みます。

施策 2 サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進

- サーキュラーエコノミーの実現に向け、市民や事業者の理解促進や意識醸成を図ります。
- 従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」という持続困難な経済システムから、資源や環境への対応を新たな付加価値とする経済システムへ転換し、持続的な発展を目指します。
- 地域特性を生かした循環資源や再生資源の活用により、付加価値を創出し、地域の活性化を図ります。

施策 3 環境学習の充実

- ３R推進スクールやエコタウン学園などの環境学習講座の実施により、子どもから大人まで、幅広い世代の市民がごみの減量化・資源化を身近に体験し、学ぶことができる機会を提供します。
- 資源循環の取組や海洋ごみなどの環境問題について、情報発信や学習コンテンツの充実に取り組みます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市一般廃棄物処理基本計画

政策 4 ゼロカーボンの推進

２０５０年のゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進します。

施策 1 再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進

- 太陽光発電を柱に、中小水力、バイオマスなどを組み合わせて再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進を図り、電力の脱炭素化を推進します。

施策 2 省エネルギーの推進

- 住宅のＺＥＨ化や省エネルギー設備の導入を支援し、地域の省エネルギー化を推進します。
- 中小企業のＧＸを推進するため、省エネルギー診断の受診や脱炭素設備の導入を支援し、脱炭素経営の促進を図ります。

施策 3 エネルギービジネスの活性化

- 再生可能エネルギーの地産地消を推進し、エネルギー関連サービスの振興に繋がるビジネスモデルの構築を目指します。
- 環境先進都市として、開発途上国での脱炭素等の環境技術導入に向けた市内企業の取組を支援します。

施策 4 多様なステークホルダーとの協働

- 脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となり、地域全体でエネルギープロジェクトに取り組む基盤の拡大を図るとともに、環境教育を推進します。
- 環境問題等の解決に向けて、国内外の自治体や国際機関等と連携を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市地球温暖化対策推進計画

分野
14

文化・芸術

写真①

写真②

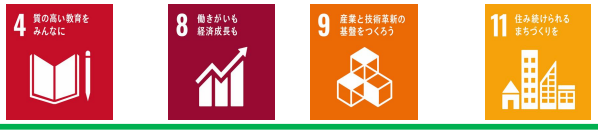
写真③

〔取組の方向性〕

文化・芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、産業等幅広い分野との連携や市民との協働により、富山市ならではの新たな価値を創造し、都市の魅力向上と活性化につなげます。

- 富山市は、ガラス、舞台芸術、デザイン、民俗民芸、文化遺産、伝統行事など、多様な文化・芸術資源を培ってきました。これらは、市民の創造的な活動を支えるとともに、観光やまちづくり、地域経済にもつながる富山市ならではの魅力となっています。
- 一方、これらの文化・芸術資源を守り、発展させていくには、さらなる魅力向上や情報発信のほか、観光、まちづくり、国際交流、産業等関連する幅広い分野との連携が求められています。また、市民参加の拡大や伝統文化の担い手不足への対応も課題となっています。
- 今後、文化・芸術の振興だけでなく、相乗効果が期待できる他分野との連携を視野に入れた総合的な文化芸術施策を展開し、文化・芸術による富山市ならではの新たな価値を創造することにより、都市の魅力向上と活性化につなげます。また、市民による多様な文化活動の促進や地域に根差した伝統文化の継承を通じて、郷土への愛着と誇りの醸成を図り、富山市の文化・芸術を次世代へつなげます。

文化・芸術分野に関連するSDGsゴール

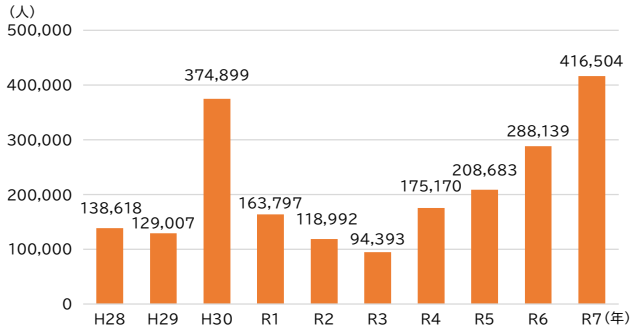


文化・芸術

〔現状と課題〕

① 文化・芸術による富山市ならではの新たな価値を創造する取組が求められています。

ガラス美術館来館者数の推移

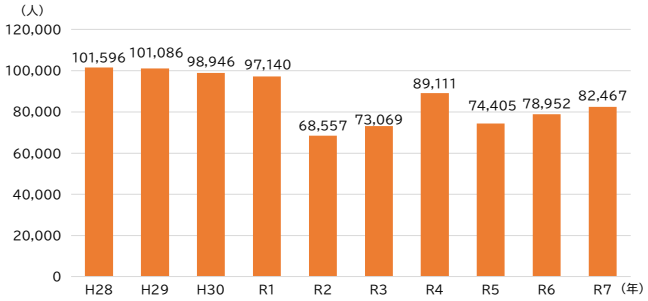


出典:富山市調査

ガラス文化や舞台芸術への関心は高まっていますが、市民へのさらなる浸透や全国的・国際的な認知度の強化には課題があります。今後は、国内外に富山市の文化・芸術の魅力を戦略的・効果的に発信するとともに、文化・芸術と相乗効果が期待できる幅広い分野と連携した取組が求められています。

② 文化・芸術の魅力を産業や観光につなげる取組が求められています。

富山ガラス工房「創作工房(レンタル工房)延べ利用者数」の推移

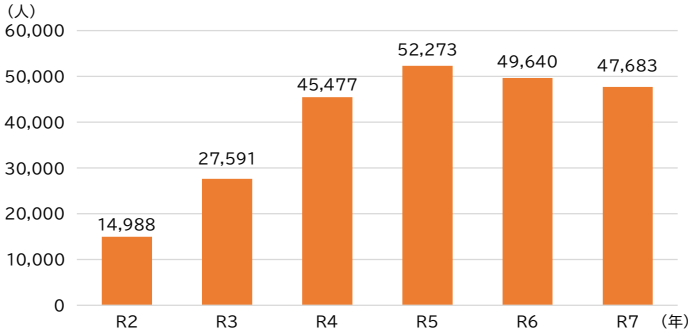


出典:富山市調査

ガラス文化をはじめ、これまで培ってきた「富山市ならでは」の強みはありますが、さらなるブランド価値の向上や普及展開に課題があります。今後は、観光面や商業的な価値を高めるとともに、富山市らしさをさらに発信する取組の推進が必要です。

③ 市民が日常的に文化・芸術に親しむ機会のさらなる充実が求められています。

市民文化振興事業の来場者数の推移



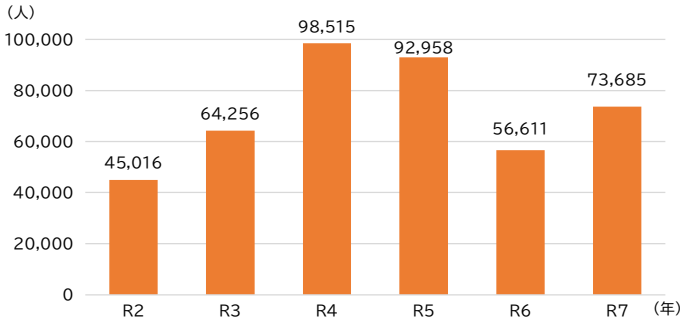
出典:富山市調査

※市民文化振興事業:音楽、演劇、舞踊等多様で質の高い芸術文化を市民に提供し、魅力ある文化の創造に寄与する事業

市民が自主的に行う文化・芸術に関する創作・発表の場や、鑑賞機会の提供等の取組は行われていますが、引き続き、文化・芸術に関する活動を行う市民の自主的な活動を促進していくことが必要です。市民が日常的に多様な文化・芸術に親しみ、気軽に文化活動を楽しむ機会をより一層充実させることが求められています。

④ 伝統文化や文化遺産等を活用し、次世代へ継承するための対策が必要です。

文化遺産等の対象施設の利用者数



出典:富山市「富山市調査」

※対象施設:馬場家、森家、浮田家、米田家、婦中安田城跡歴史の広場、北代縄文広場

地域ならではの伝統文化の継承や文化遺産の保存・活用が進められているものの、担い手不足や計画的な保存・整備などに課題があります。地域資源や観光資源として活用しながら、次世代に魅力や価値を伝える持続可能な取組の推進が必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

ガラス関連施設への入場者数

基準 ガラス美術館352,322人(令和6~7年度平均) ガラス工房79, 601人(令和3~7年度平均)

目標 ガラス美術館350,000人(令和13年度) ガラス工房80, 000人(令和13年度)

富山市調査

市民文化振興事業における入場率

基準 79.6%(令和7年度)

目標 82.5%(令和13年度)

富山市調査

富山デザインフェアアンケートの満足度「満足」の割合

基準 63.4%(令和7年度)

目標 75.0%(令和13年度)

富山市調査

文化遺産等の対象施設の利用者数

基準 73,685人(令和7年度)

目標 77,800人(令和13年度)

富山市調査

政策 1 観光・まちづくり・産業等との連携による質の高い文化・芸術の共創

富山ならではの新たな価値を創造し、さらなる魅力の創出を図ります。

施策 1 富山市ならではの文化・芸術の創造

- オーバード・ホールを拠点に、国内外の多様な音楽や舞台芸術に関する公演を開催し、質の高い芸術文化の発信や鑑賞の機会を提供します。
- 多様な文化・芸術に関わる人々との協働や市民参加型の創作活動により、富山市ならではのユニークな文化・芸術に触れる機会を提供します。
- 文化・芸術分野にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、産業等幅広い分野と連携し、富山市ならではの新たな価値を創造することにより、来訪者増加や交流促進、地域内での滞在・消費の拡大を図り、文化芸術の価値を生かした地域経済の活性化につなげます。

施策 2 「ガラスの街とやま」の推進

- ガラス造形研究所、ガラス工房、ガラス美術館の３施設が連携し、人材育成から制作、展示、販売までを一体的に進め、「富山ガラス」のグローバルな発展と発信により「ガラスの街とやま」をさらなるステージに押し上げます。
- 外部講師の招聘や公開講座の実施により、ガラス作家の育成や技術力の向上を支援します。
- ガラスの制作体験やワークショップの開催などを通じて、市民が日常的にガラスに触れる機会を提供します。
- ガラス工房やガラス美術館のショップ等において、「富山ガラス」作品の販売促進に取り組み、市民への普及と創作活動の産業化を推進します。

【関連施策】観光・交流　政策１－施策４

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市文化創造都市ビジョン
- ガラスの街づくりビジョン

政策 2 市民文化活動への支援

多様な文化活動への参加を促し、市民の創造性と交流を広げます。

施策 1 多様な文化・芸術に親しむ機会の充実

- 富山市民芸術創造センターを拠点に、ジャンルを超えて文化・芸術活動を担う人々の交流を図ります。
- 公民館等の地域の施設での出張コンサートなど、市民が文化・芸術を身近に感じることのできる機会を提供します。
- 幅広い世代に合わせた公演やイベントを開催するとともに、市民の創作活動を発表する場を提供することにより、文化・芸術に取り組みやすい環境を整えます。
- 子ども向けの公演やストリートピアノなど、幼少期から日常的に多様な文化・芸術に触れる機会を創出します。

施策 2 市民の創造性と交流拡大に向けたデザイン活動の支援

- 優れた商業デザインや広告デザインの展示イベント、デザインセミナー、トークイベント、ワークショップなどを通じて市民が広くデザインに親しむ機会を提供します。
- 学生や若手デザイナー、教育機関、企業との連携による企画を充実させ、次代を担うデザイン人材の育成と参加を促進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市文化創造都市ビジョン

政策 3

伝統文化の継承と文化遺産の活用

地域に根ざした伝統文化を守り生かし、次世代へつなぐ取組を進めます。

施策 1 文化遺産等の保存・活用

- 指定・登録文化財や未指定文化財の計画的な保存・整備を進め、観光資源や地域資源として活用します。
- 史跡の保存・活用を図ることにより、史跡の魅力や価値を幅広い人々に周知し、後世に継承します。

施策 2 地域の伝統文化の継承

- 富山市を代表する伝統文化である「おわら風の盆」や「曳山祭り」について、担い手の育成や新たな魅力の創出・発信を図り、持続可能な伝統行事として継承していきます。
  【関連施策】観光・交流　政策２－施策３
- 地域の自然や歴史、文化財などに実際に触れる学習機会を通じて、子どもたちの郷土への愛着と誇りの醸成を図ります。
  【関連施策】郷土愛　政策２－施策２
- 途絶えていた伝統行事の復活など、地域による伝統や文化の継承に向けた取組を支援します。
  【関連施策】地域コミュニティ　政策４－施策２

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市文化創造都市ビジョン
- 富山市文化財保存活用地域計画